仰着帶の御儀は來月十四日

11者は近く決定

根強い反威北満露支人間に

一天派は積極的に戰ひ得

と拝診さ

もなく、 解奈良縣に等しき関東 も整を擬たへて、自己の任所を をしたへて、自己の任所を をくどらかなるを感するや深かなく安らかなるを感するや深かなるを感するや深かないともに、どこと

通信員に語るところは、新聞遠つてはならぬ、新 情から亦間違つて、長宮 が、それが比較関を出った。 が、それが比較関を出った。 するだらうと、時に外 に動する同情が、斯う 戦んずる人さえある 政協の重位 から長官が

和郷を招かんとの決意を備ふ、表礎に満洲で、兩國民の総合と、之をに、日支嗣民族の融合と、之を てこで希ふは新長官によって、

東州も充分に活かして使はれる東州も充分に活かして使はれるの能率を呼ふは易し、そうしての能率を呼ぶは易し、そうして長官の重位はこムなので、代々 たが、併しまだん、所規に達し 洲での働き振りを示すべきは略

加えても好し、此地を北支那賢大連それに旅順を含め、金州を 之が爲めに先づ以て長官條許の 更に之が伸長さる」ことである

2 伯號到着映畵會

今明日午後七時半より

協和會館に於て上映

場の中心たらしむべしで、現今 情を握んで、どこく、それには関東 本人に此頭腦を持たせねばなら ず、陽東鷹としての直接施設と で、それに揺まらねばなら で、それに揺まらねばなら で、それに揺まらればなら で、それに揺まらればなら で、をれに揺まらればなられば たとて、精神がそこになければ たとて、精神がそこになければ たとで、はないと言ふべしで、値 を登海させたい。

日本の爲だが、其中面に之で支外で日本人が之を襲す、素より

自を益することにもなる。之が を始むるが好い、他を利するは も、开は繋ふにあらず、從ひ來の仕事を奪ふの因をなすと云ふ るなり、日本文化に服したもの へ、自は更に一歩進んだる仕事と觀で、そうした仕事は彼に興

も適用せらるよが、溝線沿線の機合を出ひさせ得まい、此事は

那人をそれへ誘導したい、人政

以て新長官と迎ふるの解となす。ことを書くには除自がない。本 族同代十六日入港。 た歩兵中佐草場受ったが兵中佐草場受っ

間し就任の挨拶をなし即日歸京し機裁は二十五日午後西國寺公を訪って御殿楊二十六日薨電』仙石淸儀 仙石總裁

放金子書齋養逝いて既に五年となるで、霧が主宰して居った泰東日 報社及び擬東野社では霧の五周忌 所に於て「雪齋霧墓前祭」を執行 することゝなった、逝ける霧を思 まる人々は當日午前十時迄同墓 地に発集されたいと 雪齋翁墓前祭

良人を出世させる妻る人相

には充分に合格できます。これだけの知識があれば、奥樣試験讀物が、到るところで大評判です。

の寫真に就て一々指摘してあるのの寫真に就て一々指摘してあるの。

病人料理の持つ方

▲小林鐵太郎氏(長官秘書) 同上 ▲太田政弘氏(關東庭文書課長) 同伴にて二十六日入港のうら る丸にて潛任 る丸にて潜任 明道氏(關東廳秘書課長)

たので、家庭でも病院でも非常な大野な人がらしい病人料理ばかりを九月臓を必の無い病人でも、一目見たさけて

病氣上直一效一民間

を御存知ですかの

小學太兵衛氏(新隆洋行主)

や民間療法を種々『主婦

あるまい、同機器會は二十六、七兩日午後七時三十分より鐵和會館に上映する。入場對は一點たるロスアンゼルスに近づきつゝある重船の雑姿を目のあたり見て快哉を叫ばざるものは上空潰水より帝都訪問、更に置か浦蓋陸の實況が精細に現はれて居り、今や第三コースの終上空潰水より帝都訪問、更に置か浦蓋陸の實況が精細に現はれて居り、今や第三コースの終出空潰れて二十六日到蓋した。同寫與は海軍飛行機より撮影したもので一卷七百呎、置か浦、低級の本純主催のツェツベリン低號飛行船到着光景映鑑は 篏送した郵便飛行機故障のため二

かれさうな模様はない

部長、市內各警察署長

軍馬徴發の

露人を銃殺

親戚關係

た藤岡野務局長は今回鮮任したが一藤岡町新局長は今回鮮任したが 本第三高等
副校
創造部選
引一行
十五名 同上
十五名 同上
十五名 同上
十五名 同上
十五名 同上
十五名 同上

久病の方に直ぐ效能の現るト 人病の方に直ぐ效能の現るト

婦人病を御存知ですから

全代個人的の関係でやめるのさ 在任中は色々お世話になつた、 の引耀等も都合が好いと思ふ、 の引耀等も都合が好いと思ふ、 の引耀等も都合が好いと思ふ、 の引耀等もから事務。 の引耀等もあるから事務。 の引耀等もあるから事務。 の引耀等もあるから事務。 の引耀等もあるから事務。 の引耀等もあるから事務。 の引起等もあるから事務。 の引起等もあるから事務。 の引起等もあるから事務。 とここ。 は、上海等を から事務を引援いで自分は一度 から事務を引援いで自分は一度 から事務を引援いで自分は一度 ▲瀬谷佐文郎氏(新任大連市助 道で各方面を腰訪し新任抉接 道で各方面を腰訪し新任抉接 。 遠べた 中四飯憲氏(補鑛地方部地方 課長)二十六日朝急行にて能 最城へ出張二十七日夜歸任の 養定

十六日入港のうらる丸で來連した

正邪を嚴に區別し

明な政治をやる

人事の異動は濫りに行はぬ

した。それだけのこと。 の新記録、驚異的レコードであらだが併し、世界人類、有史以來 て信號、とう 人太平洋を演覧

良人

味のは八つの種々を『主婦之友』九月號。 つたものは不安です。お母様が家事の 學校が休みだとお子様方には一層お八 を御存知です 知ですから

子供の言いお八 横取りされめ心得 Solk

玄米段半 天顔と美しする 秘法 御存知ですかり

因縁が深い

:=

るついたといふもの。

鈴木特務機關長

この文ぎは日本人の講覧飛行で、この文ぎは日本人の講覧飛行で

存知ですかり 作る

されて大評判の實験を見いたです。さういふ悩みをといて大評判の概みは小数のた 類の小ジラ 3

は来る九月十四日戌の日を以て、御幣親は職院宮殿下奉仕し御澤起工され、同年九月披成した宮中大奥御常御殿に近き離火鐵筋コ遊には殲幸遊ばす御御定と承る、御産殿は昨年一月内匠寮の手で遊には殲幸遊ばす御御定と承る、御産殿は昨年一月内匠寮の手で返には殲幸遊ばす御御を上きを入る。 けさせられる由に承る、御分娩も十月早々と拜診され御驚糖の儀壇啓後陛下には一切御外出の事なく御目出度き日まで御鬱養を緩下は舩々御懺勝に跳らせられ、來る二十八日遷啓仰出されたが、 【東京二十六日簽電】葉山御用助に照宮殿下と御避暑中の墓后陸 を表することになってある、一方光菜の御乳人は目下是 を表する。 ではボー子社から騒眩となってある、今回の御題事に率 を表する。 ではボー子社から騒眩として奉仕した坂田アキ、 体材寺こう、電崎婦、常時奉仕の阿部、松本、渡邊、山本四女史 が発出することになってある、一方光菜の御乳人は目下是 本ダケが奉仕することになってある。一方光菜の御乳人は目下是 本ダケが奉仕することになってある。一方光菜の御乳人は目下是 本ダケが奉仕することになってある。一方光菜の御乳人は目下是

京府、神奈川縣、千郷縣、縣馬縣、

に対する皆である。 に対する皆であるが、九月半頃は正嗣四名

の多くセミョノフ將軍の子息は二

けふ着任した太田長官と家族

の配構で一緒は御産室となり他の小三壁も膨間一部は皇子能の配構で一緒は御産室となり他の小三壁も膨間一部は皇子能の一種は一部は皇子能の 労農軍が來月 満洲里を總位 支那軍も防備を固む

は十八歳以上の壯丁を强制召集すべく準備中である。那軍は益々防備を固め奉天よりの增援隊が岩期日迄に間に合はぬ時して大學滿洲里、海拉爾一帶を攻撃すべく準備中なりとの説高く支、満洲里廿五日發電》勞農軍は沈默を守つてあるが、九月一日を期 和平不可能の場合

長崎二十六日登電」現下の電支 地震、大時間に直る検 でで来朝した圏民政府司法院長代 でで来朝した圏民政府司法院長代 でで来朝した圏民政府司法院長代 でで来朝した圏民政府司法院長代 でで来朝した圏民政府司法院長代 張繼氏、長崎にて語る

國際聯盟に訴へ

白系露人を率る 支那軍を援けん セ將軍の子息海拉爾へ赴く

ものにて露支問題眞相の諒解其一た東鑛赤譚從築貴に代り膨入れら、一綾々嶢入れられてみるが白露人は今国の訪日は個人として來れる 【稿州里二十五日穀電】除屋され、れた白露人は既に一千名に上り稿 漫談 務局長)と壁校は触り遠ふまい

B氏「旅職職跡のやうに植林は

日下氏「伽石さん(蒲鎭線裁)

太田新長官を中心に 日下氏「此項歐洲には一本々々出來ませんか」

よ」 学行しては如何です」 DI氏「長官は碁精棋の類は如何

を いで練習が出來ますから私共のや いで練習が出來ますから私共のや がは無点は助かります」 長官「侯等にも出來るものなら

間の身體は汗を施ざないと腐るともなざるやうですよ」

をするつも に收めて、 に収めて、 をくゆら

東長官は「を受け渡口

ふ着任の太田關東長官談

本は、大田陽東長官は二十六日午前十時 長、藤原民政器長、池山市長並にが、大田陽東長官は二十六日午前十時 長、藤原民政器長、池山市長並にが、中民政署長美地と共に徹底、原政 一は、「一郎」では迎への神田内務 出源ひを受けむ観光に於て同候式に、「「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一次)の都を挙げた。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一次)の本を挙げた。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一次)の本を挙げた。 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一次)の本を挙げた。 「一郎」を行び直に職署長、池山市長並に 「一郎」を行び直に職署長の先願にて官邸。 「一郎」を行び直に職署長、池山市長並に 「一郎」を行び直に職署長、池山市長並に 「一郎」を行び直に、「一郎」を見下す官。 「一郎」を行び直に、「一郎」を見下す官。 「一郎」を行び直に、「一郎」を見下す官。 「一郎」を行び直に、「一郎」を見下す官。 「一郎」を見いました。 「一郎」を記述されていた。 「一郎」を記述され

關東長官々邸で

憲兵分隊長着任

在旅官民の伺候式後

たくてはならぬ間とでなるが、関するに施 地取引所問題其他色々な解決し なくてはならぬ問題が發つてる。要するに強力を強力した。、強力は昔から正不正の展別は何時の場合も判然として之に 地取引所問題其他色々な解決しなるが、選口首相もそ こを見てくれたのだと思ふ、當一部で進むがへであるが、選口首相もそ を代ではならぬ問題が發つてる。 を紹く度れがあるから言明を避解と共に秋山埠頭長等の先導で が名、政村としては飽まで繁縮 方針で進むがへであるが、、関口首相もそ を紹く度れがあるから言明を避解と共に秋山埠頭長等の先導で が高の主義で進んで行きたいも のである が当りである只藤岡警務局長だ のである が着りである具藤岡警務局長だ のである が着が色々な事情から離めた位で のである 満線方皿、市役所関係及び軍部方 を指しては、政村としては飽まで繁縮 が計分で引上げ九時半登旅艇行列 本に間に合はすべく出襲した、因 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、 神田内務局長、田中民政署長、

とて和平的解決を希望とある。 いちの併し、張耀君など、依然と がちの併し、張耀君など、依然と かく航空によつての世界一周、 人類の割期的時代を示しつくある のとき、北隣の一角では、依然と たり、猫の眼のやらにクルくと 何となく時代錯誤の感。

天氣豫報 子瓜の公事はてずして秋の風

アナタの九月 今川までの巡渉神殿 9

同號が日本霞ケ浦を離陸して桑港までの所要時間は六十八時間九分であるた、豫て歡迎の準備を整へてゐたサンフランシスコは市內外俄かに熱狂その極に達時間廿六日午前十時二十二分)サンフランシスコ金門灣上にその巨大なる雄姿を現ンフランシスコ二十五日發至急報』ツエツペリン伯號は二十五日午後六時二十二分 全市民熱江

追風 工 伯號より 真東 の記 た我ツエ假號は今や目指すアメリカ大陸の海岸造あますところ値 白井特派員發 驀進

進してゐる、この分なら今からす これまで暫く東南に進路をとつて來たが、今や五メートル九時〉本船の位置は北緯四十三度三十分、西經百四十八度三十分、四經百四十八度三十分 ツエ信號は太平洋衛脈所要時間は僅に六十時間といふ驚異すべスコに到着し得る見込みである、若しこの見込み通りゆけばわ 日本國民諸君の この分なら今から十五時間以内にサンフラ もつて、米大陸へ向つて落をとつて来たが今や五メートル 若しこの見込み通りゆけばわ

【2伯號二十五日發】二日間にわたり暴風雨と激霧の間を突破し 幸福を祈る

度四十分である、海上は目下波離まり本船は引續き追風時半)における本船の位置は北緯三十九度四十分、西郷百三十一 に三百八十哩である。即ち午前十時半へ満洲時間二十六日午前五 に先立ち日本電報通信社を通じて日本國民諸君の幸福を祈る。 での でいる でいる でいます からの 所要時間は恐らく七十時間内外であららと 変調を ないられ 要らず例の燃然たる態度で 懸認を 空間を 浦からの 所要時間は恐らく七十時間内外であららと 変調され 置か 浦からの 所要時間は恐らく七十時間内外であららと 変調され をうけその後更に速力を加へ目下七十五哩 以上の快速をもつて航進してみることの分ではサン ソシスコの上窓には廿五日のまだ期るいうちに到着すべくこ

二十六日午前六時ごろ小崗:署に 全身返り血を浴びた華人が飛込ん で來り、只今妻ほか三名を殺害し で來り、只今妻ほか三名を殺害し たと自首したので、直ちに現場の 張

九月に王吉臣二女張々氏(二)といひ、張は昨年歌永暦(二)といひ、張は昨年の人者は原籍西山會東張家屯四四

時で、手斧を以て妻の職部に一撃は一年度して張吉臣方に至り耳でいる。 強し張は美しき妻を忘れられず幾 なし張は美しき妻を忘れられず幾 九月一日午後一時から大連運動場でもとに開催される全流水上競技のもとに開催される全流水上競技の時間ではいるが、一般などのでは、一般などのでは、一般などのでは、一般などのでは、一般などのでは、一般などのでは、

【2伯號廿五日母』二十五日日曜日の太平洋上は霞ケ福出露以来の快端に悪まれ船は一時間七十哩の快速力をもつて舵進してゐるの上に異り輝きその壯騰實に討語に絕する、やがて二十五日の旭日は白雲の先に見り輝きその壯騰質に討語に絕する、ヘースト新職職の有の上に現り輝きその壯騰質に討語に絕する、ヘースト新職職の有の上に現り輝きその壯騰質に討語に絕する、ヘースト新職職の有の上に現り輝きるの一般がた。

元氣者がひで、最後まで一人の落ったので参加者が少なかつたが其のれる一里遠泳を攀行時から眺着の如く一里遠泳を攀行時から眺着の如く一里遠泳を攀行ける加きなりのであれる。 一点をから眺着の如く一里遠泳を攀行

より閉場式を乗れ本年最終の水泳。

善─▲小牧勝美▲林敏行

虚新之亟▲荒川

霞ヶ浦を出で

初めて汽船に遭遇

哩遠泳合格者

伍者もなく結局左の八名が入賞し

心麗さに乘客喜ぶ

百

運ひながら汽笛を鳴らして挨拶した

氣早やの連中

荷纒めにか」る

第で編集費金時代の名投手 も今春來長足の進歩を遂げ、

二十八日滿州俱樂部とそれで

營口の疑似虎疫

眞性と決定

神戸商大軍來る

を期して

お馴染の岸一郎氏の引率で

等に機風が立つて人生の移り變り が物器しく感ぜられる、自然を落 し何も知らない離をしてマキノの すらる丸で来だのが、高木新平一 で表である、後には大連伊勢 水冷臓子が、如何してこの若い 女水冷臓子が、如何してこの若い としてがあるといふ娘さん… があましくが立つてゐる、後 は大連伊勢 ルルがあってゐる、後

٨

月

特

别發

姉妹の明白教

すから實満と對戰

てゐます

盛に記念署名の交換

色に層をあげて喜ぶのであつた、温度器氏十四度で恰も晩秋の

灰である、入時二十分、霞ヶ浦出麓以來初めて汽船に館した、

慶馬汽船會社の白炭丸(五千中)で同船はわがツエ催號と響れである、八時二十分、霞ヶ浦出襲以來初めて汽船に館した、神

とる如く見える、乘客一同は早く超き出で稀に見るこの批濫な景を保つてゐるため海面の凝荒くして波濤の大きくうねるのが手に十トを撮つた」といつて大喜びである。この時船は五百呎の高度

この美しき洋上の日の出をフヰルムに收めたが コニ百五十フィ

張氏(==)二女様頭(こもをもった。)三女様頭(こも)をもいった。 就寝中の 臣をも一撃の下に仆して献っけたか を與へ、仆れたるを見濟す 張吉臣の なり、一般では、一般である。

選手權大會 九月一日大連運動場プールで はまして筒 つて作れた四人の血塗れな姿を見いまして筒 つて作れた四人の血塗れな姿を見います。 さ込んだが何れも急所を外れ可成を まるがの悪傷であるが四悪情位で全治 の見込である 上競技

申込みは廿八日限 掻拂ひ捕はる

り二十六日詐欺犯人として大連署の二十六日詐欺犯人として大連署を高端計解(*こ)は長寿吉野町二二八四十二十二十一妻石商慶

唱 童 唄小行法の賣愛別特 大阪行选曲(下) 高 金のグラス(上) 小野行人嗣(堀内敬三編曲)

節花泡 倉橋 傳助 天中軒雲月嬢赤 尾 林 藏 松風軒築樂 ピアノ ダン道子 ピアノ推野開職夫

オーケストラを ヤード上 泌尿器 满 生殖器障碍 性病報告

曾我道子

三味線、琴、尺八連中

幽青くに子

光建浪速明一丁口

こゝに會心の歌繹伎レコードが出來ました。
「「精巧なる新吹込と新製法」。この三拍子揃つて「動阿彌の名合詞」名優然本幸四郎丈が活殺自佐の啖 商料大學音樂部員 風やなぎ 香 4日本中国日 井上醫院

國井

縈

A SA SPARIE 1



帝劇の本舞台そのまと (枚二)

月 八月廿四日邀黃一 新 譜 Columbia .

お待ち無ねの

三高劍道部選手

けふうらる丸て來連す

度目です、智學生の事ですから 元気一杯にやるのが取柄です。 元分ですから母子日子静からと いふ事ですから母子日神静蹇し て充分酸はせます、何分満洲は ですから酸ひ甲斐もあると云ふものです(宮眞は三高

洋 分滿洲時間 \$

二十五日から戦人を開始した二十六日の総切り巡には三千監を突み は、一十監を出品するから野物となるで 中野を出出者機氏は五十歳記念として二十監を出る。 管域有 がいした 一十監を出品するから野物となるで 腰の搬入は秋の美術の開幕として『東京十六日登電』第十六回二科

一科展搬入 三千點を突破

揮ひ

投 推攝器 磷黎斯 二二三遊外

全國高等學校の無道大能に優勝した第三高等學校の無道大能に所述。 教士小棚質之氏に引率され十六日 教士小棚質之氏に引率され十六日 大正十四年に來たからとれで三 大正十四年に來たからとれで三 ポシ西石橋小園園可して、原山ボシ西石橋小園園可して、

女給の投査額の 尾アキュ(二二)は十七日朝済報祝院に赴くと稱し外出したまゝ未だ院に赴くと稱し外出したまゝ未だ院の。 通過別嬪な常人の寫眞貼付の上大 超る別嬪な常人の寫眞貼付の上大 はおば大連に二三名の友人がゐる は先上それを頼つて赴連したらし

(松江邸玄陽先の場)

鳴物 田中傳左衛門社中 高木小左衛門 守田 動 第 足上 幸 蔵 北村 大 語 足上 幸 蔵

聖上の御肖像畵を 古物と共に賣る

小崗子露天市場で發見押收

妻とその親娘四

男は返り血を浴び

て小崗子署へ自首す

人を斬る

けさ王

陽街の慘劇

明新曲洲島 (所姓)

鳴物 梅屋社 医五三颗

少大

こと云ひ當人も陛下とは無付かず

田高等主任は近来高貴の方の御賃賃が一般に近来高貴の方の御賃賃が一般に近る事がある、も少し慣重

南京火藥庫爆發 共産黨員の所業か

江州

ッラ玉子 子奏子

俚

٤

民謠

東産業員の陰謀と見らる 東京城内の火薬庫爆襲し一時間は聞く丈け野暮二人はいそく上時南京城内の火薬庫爆襲し一時間は聞く丈け野暮二人はいそく上時南京城内の火薬庫爆襲し一時間は聞く丈け野暮二人はいそく上

h

が

に別致された、廣島は本月三日ご 三十八個、僧格百五十圓、同五日 ごろプラチナ豪ダイヤ入り指輪ー であずラチナ豪ダイヤ入り指輪ー であずラチナ豪ダイヤ入り指輪ー 同人の承諾を得て販賣し年ら未だ の表記した、廣島は本月三日ご に勘定を済まさぬものであると

エルサレム二十五日愛常」土曜、 村野中に英國公立飛行檢査官エド で発表人の死者三十名負傷 を選手中に英國公立飛行檢査官エド で発表人の死者三十名負傷 で発表人の死者三十名負傷 で発表人の死者三十名負傷 で発表人の死者三十名負傷 で発表人の死者三十名負傷 で発表人の死者三十名負傷 人種戰で双方死傷

5

ンでは多数の猶太人が鏖殺された アはアラビヤ人に包磨され、プロアはアラビヤ人に包磨され、プロ 紅屋の娘日延べ

上映中の紅屋の娘は満員のため今本紙讚者慰安のため沙河で劇場に

大連海務局對策を協議

西郷百三十一度四十二分、宛かも西郷百三十一度四十二分、宛かも西郷百三十一度四十二分、宛かも西郷を見て間もなく空は再の出の比較を見て間もなく空は再の出の比較を見て間もなく空は再のである本船は時速七十人フトでサ

物投下を利用せんと類りに崇書にサンフランシスコ上空からの郵便 郷めに掛ってゐるものがあり、 模様である、船客中には早くも

々として襲しい校門を入りました《倉政はけさ大廣場小鍛べて強くなつた可愛い見醸たちは何れも赤銅で着たや

けふから小學校始まる

第二學期の授業が始まりまけるから市内各少學校では

はカーブが得意です、岸さんの れはスピードを得意として石川 低はスピードを得意として石川 です、投手西川橋

選手は語の列車

時)の位置は北緯三十九度十八分 は見込より早く驚くてとは困難の正午(東京時間二十一六日午前六 力急いである。然し目下の狀況で『ツエ伯號二十五日登』本船時間 成るべく日浸前に到着したいと極

日本ロロムビア富音医株式会社 御買上は最密のコロムピア特約店、支店にて

展するに至らずして今日

佐米関東州は清酒の

漸増を示す

瓦斯の消費量

殊に夏季の需要増大

時で、移輸出獎酬金の引上げをな 電話に関り百元につき二銭・上等 一様となり。近く競布を見る等 のは普通殿百元につき二銭・上等 一種ないのでは、近く競布を見る等 のは普通殿百元につき二銭・上げをな のも、即ち從來州監移輸出獎酬 一年額に関り百元につき二銭・上げ 年額に関り百元につき二銭・上げ 年額に関り百元につき二銭・上げ 年額に関り百元につき二銭・上げ 一種類が入は年額二十九萬圓の がのとが原因は競戏高に因 を移輸出数職上大した好影響は無 のがのとが原因は競戏高に因 を移輸出数職上大した好影響は無 るを光、監視の部とすが、免金を を発出してあるがしかしとが、 を発出しているがのとが原因は競戏高に因 を発出数職上大した好影響は無 るを光、監視の部と見られ、第七 のがのとが原因は競戏高に因 を変となるがしたりを来し を変となるがしかしとが、 を変しているがのとが原因は競戏高に因 を変となるがのとが原因は競戏高に因 を変となるがのがのとが原因は競戏高に因 を変となるがのので修 様に今回品により値数を来し を変とって歌ると表が高まつてある を変と、 を変と、 のがのとが原因は悪戏高に因 を変と、 のがのとが原因は悪戏高に因 を変とって歌るとといのでのでののでののでのでが。 を変と、 のがのとが原因は悪戏高に因 を変とって歌るとといのでででであるとといのででであるとといのででであるとといのでででであると、 のがのとが原因は悪戏のでででであるとといのででであるとといのででであるととないであると、 のがのとがのとが原因は悪戏のででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのででであるとといのでであると、 のが高まつてるる 性産過剰の関東州艦の新販路を印度に栽むべく三井大連支店で該地に交渉中であることは既報の通りであるが、関東廊では、この機合のであるが、関東廊では、この機合のであるが、関東廊では、この機合のであるが、関東側艦の新販路を印きを通りの関東州艦の新販路を印きを通りの対象が、

會社設立の運び 近く創立の準備に着手

運合解決

鹽税の輕減を希望

(可運物便再種三萬)

移輸出獎勵金引上

修度を

高粱强調

大 10至20 2010 10至20

前 元 元 元 元 元 元 元 引

神戶豆粕

市

産 況

12

從來の百斤につき六錢を八錢に

七百立方呎を比較すれば六百三十七百立方呎を比較すれば六百三十八萬九千七十八萬九千 六萬八千九百立方呎の増加を示

金を取る仕事である。今然も支那の海で取つて支

一段落

東支線の遊送覧物は表る十四日以東支線の遊送覧物は表る十四日以来では千百六十車で続すところの数量は千百六十車で続すところの数量は千百六十車で続すところの数量は千百六十車は本日中に到着の管で て進めば五百萬圓から一に増加しつくあり、此の

五三個〇〇數

◇定 期 ◇定 期 ◇定 期 ◇定 期 ・ であり現物は銀票安にて更 ・ の商狀を呈した

(前六日)

安高引擎

二一十十十九八

教賀浦港・駅路 世来日補運器の一郷路である教質 サラデオストック間航路である教質 増によつて郷雲されて居たが本月 船によって郷雲されて居たが本月 がご商船は手を引き北日本汽船 大仕事が、聴がつ である、斯う言ふ様な真であるものではあるまいか 来るものではあるまいか 来るものではあるまいか ある

白米小賣

為替相場(對於用) 三三三三 九九九九 四四五四 兩兩兩兩 四二十七

製鋼所問題と 八連會議所

鞍山委員の運動に對して 役員會で態度協議 る。 「京城愛」三年間に建つて揉みに 一日よりも選延する場合は電前各 大つたらしい、過数の同盟会数館 一日よりも選延する場合は電前各 大つたらしい、過数の同盟会数館 環域派と目せられる数十店は強と して首背しないので額に當つた吉 して首背しないので額に當つた吉 なった惑氏も十三日午後八時に至 なった認じ・一日よりも選延する場合は電前各 地は新倉社役員の振舎問題も合同 ので額に當つた吉 なった認じるの場合は電前各 なった認じるの場合は電前各 なった認じるるがら最後の暗 なった認じるるがら最後の暗 をは新倉社役員の振舎問題其他と のた認である のたことは、 のたことは、 ので額に當つた吉 なった認である。 のでる。 のでする方針であるから最後の暗 なった。 のでする。 のでする方針であるから最後の暗 なった。 のでする。 ので 加に決し、廿四日午前十一時半續 道殿に大村殿長を訪ひ正式に参加 を割明し、石田理事は同午後運合 を割明し、石田理事は同午後運合

提出議案

前途多望な

關東州の水産業

滿洲經營論者一考を促す

馬場の臨時株式總會は北海

報告及本社將

銀弱保合

哈市競馬場總

松丸孝三郎等

これによつて近々雨者の握手をとれてよって近々雨者の握手であるが、運合側の業績調査既に調製済であるが、運合側の業績の順序であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績であるが、運合側の業績である。

が計場と分配行高 大月二十四日現在に於け 行券養行總額 八九、二九十四 電貨準備 四九、六二九十四 保験準備 四九、九二九十四 に関軍位)

内容は左の

七二八〇〇四四九二八〇〇七三九

ともやつてみるが、本来で質を向います。 ともやつてみるが、本来で質を向いまのが最も大きな目的で、早くより専門技師を聘して、強力を関係して資本のが異も大きな目的で、早くは、異常の進歩を遂げ、登束の指揮を明して資本效果を救めてみるが、本来で質を向います。 は異常の進歩を遂げ、登束の指揮で向います。 は異常の進歩を遂げ、登束の指揮で向して資本数果を表して、監査により、今では内地で、早く には異常の進歩を遂げ、登束の指揮の指揮で、早く には異常の進歩を遂げ、登束の指揮を が、一般とび清極の を書してみたものが、一般とび清極の を書してみたものが、一般と には、登本の安全 には、一般になり、今では内地物と比 になり、今では内地物と比

内地物に比しても

遜色ない關東酒

組合其他の努力で着々醇良化す

關東州酒造組合

方針が自由

十九八月月月

株式出来高(十六日) 世界 物 一、三四〇株

101 大 [杏]引

花環

思はれてゐたが、総合の劉心な研究の結果は内地より却つて好遊だ 建黄

品である、

○定期取引(单位载) | 本高(無期) 二百九十萬圓 | 出來高(無期) 二百九十萬圓 | 出來高(銀對金 銀對洋 金對洋 | 出來高(銀對金 銀對洋 金對洋 | 出來高(銀對金 三萬圓

錢 新五銘

十百五

强健肠胃 整者のない所で不時の病 類程限るものはありませ 気程限のものはありませ なりませ なりませ 回露れ 入入入 升至一二 経 経 経 質 圓 圓 價



さいる

家屋大腹眼に付達は 一大腹眼に大きないます。 一大腹眼に大きないます。 一大変と大改楽致しまして奇麗な客間十餘室に 一大変を大改楽致しまして奇麗な客間十餘室に 一大変を大改楽致しまして奇麗な客間十餘室に 一大変を大改楽致しまして奇麗な客間十餘室に 一大変を大改楽致しまして奇麗な客間十餘室 です、房肥鴨(家鴨料理)は殊に弊店自慢の料です。 ではます様代してお願申上げます。 一大で変にを一大である。 一大である。 一大です、房肥鴨(家鴨料理)は殊に弊店自慢の料です。 一大です、房肥鴨(家鴨料理)は殊に弊店自慢の料です。 一大です、房肥鴨(家鴨料理)は殊に弊店自慢の料です。 一大である。 一大でなる。 一大でなる

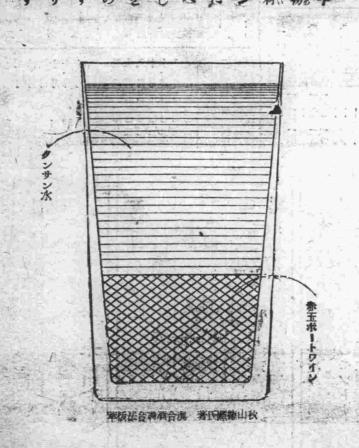
於 神 情 場

の準備も整ひました

満洲の温泉

社社

四四 前場二六〇 一〇五 | 一面





=

根

院



店店居店又堂店店行行就泰元行行行行行者會店店堂行店行行店店行會行店や店行店行店行

24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 長 長 長 篠田 長 短 田短 戴 戴 短 坂 爾島 編 集 樂 報 祭 聚 集 集 集

8 配 は信じて疑いであり、各篇悉(所有的である。 を集がの的となってある。。 を集がのが、一点を表情を表情であり、各篇を表情のであり、各篇を以て正に世界ののはなってある。。 を集がのが、一点に世界のである。。 を集がある。。 を表情のである。 を表情のである。 を表情のである。 を表情のである。 を表情のである。 を変好するをはず、一点に世界のである。 を変好するをはず、一点に世界のである。 を変好するをのである。 を変好するをのである。 を変形して正に世界ののである。 を変形である。 を変形である。 を変形である。 を変形である。 を変形である。 を変形である。 を変形である。 を変を変形である。 を変形である。 を変形での。 を変

推園刊農 園子の 出版文の



牛東 **數理理學理生物語方文法話話話話** 込京 花香料那本兒歷事食 受建筑工學课科講 推り製稿洋裁の作選連連減選回

出來る理想的な講楽 年國或指行百

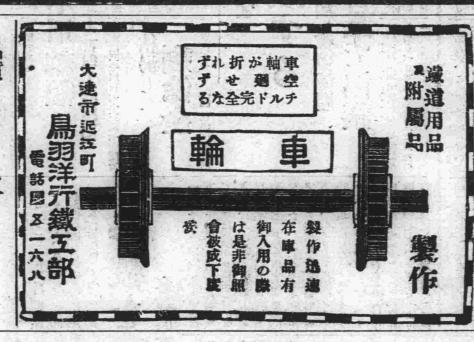
商 はこの講義録 理 諦 事費月豊岡流拾銭 毎月一四 穀 行 の 発 行

世に出る準備、 中 の講義立 一學費月費圓額 修拾發百

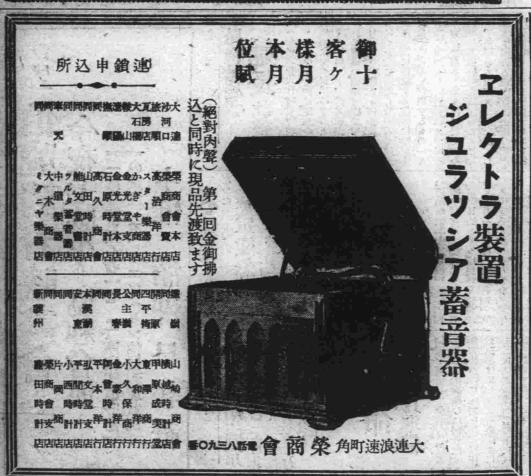
學典體

元 日 0 | 任我我我 部才作中客工十(十點直关技 威權の界車轉自 支 店 人就ナ

志摩洋行 電話(配記成)番



曾经田安 部險保 一五一三里,翅原山市建大 へ所店奇最八命用湖ノ地谷線沿◇



總代理店名

英國 ワイトホース機造會社 * 佛図 リキュワー・デ・ラベ・フランスワー ウキリアム・ウキトレー株式會社 米國 アメリカン・ビスケット会社 白國 ラ・ソサイエテ・アノイム・ヴヰクトリア 英國 ライヨン株式會社 加奈太 パターソン製菓會社

獲逸 イー・エッチミハイルスン商會 米國 ユークリツド製菓會社 和願 ベトケ・ホーランデス・カカオフワブリカ 米國 リグレー株式会社 カ奈太 ニールソン製菓會社

英國 ムーレー製薬會社 米國 ウェルチ・グレーブ・ジュース合社 佛図 メイソン・ソーヴヰネット 各國有名食料品會社製品取扱

加州 ニールソン・储計會社 サンメード乾葡萄聯合會社 カリフオルニア維詰會社(グラスジャー印) ノルマン・エル・ワゴナー合査会社 ハワイ・パインアツブル雑詰合社(ワイキキ印) ヴァン・キャンプ海産物合資會社 デヴヰス・ヴェーキング・パウダー會社 イーベエツチ・ミハイルリン商倉 ニュー・マーガリン工業會社 獲逸 マーガリン製造株式會社 凍洲 オーストラル雑詰會社 英國 ジョーン・スデーブンス株式會社 印度 リプトン株式會社 米関 ジョーナス合資會社

大 逋 市 加 賀 町 四 (大連号私書函第壹號)

業酒・洋食料品輸入卸元オリエンタル貿易商會

同 ハス・バルツフ會社

電話四二五三番 電話四四九三番(表間)

東亞印刷鑑大連支店 多少に拘らず御用命を願上候 版 はた 九六

何でも御利用下される





用京より 張玉 沙開始和丕 **労農側要求の原則的承認か** に密令

一、東文鐵道を現狀に恢復せしむ 軍に動員を命じたとの報に危險を感じ張摩良氏に宛て「此の際寬大な條件で避かに露支交渉を開始し 和平解決に努力せよ」と警電した右條件內容は不明であるが 和二十六日發電」確實な方面に達した情報に使れば南京政府は馮玉祥氏が山西省連城より鷸西北 對奉派關係等が原因

世しむべし

とのロシア側要素の原則的承認にある模様である、斯く南京政府の態度が急變した裏面には張、馮雨とのロシア側要素の原則的承認にある模様である、斯く南京政府の態度が急變した裏面には張、馮雨とのロシア側要素の原則的承認にある模様である、斯く南京政府の態度が急變した裏面には張、馮雨

對露軍事行動は 奉天派の宣傳に過ぎぬ

第一二軍出動は鐵道守備の爲 眞意は非戰にある

前者は総分を中心とし、後者は島「【奉天物電二十六日級】張敬良氏

處女空を見事征

工伯號羅府

世界一周第三コースを翔破

夜明けま

て着陸延期

め、中華以上の學生をして義勇隊 近くこれが實現を見るだらうと特に困難を感ずる狀態となった為 に求めたるに何れも齊成したので都と是國國忱氏は露支兩國の形勢 以て地方治安維持の任にあたらし官感長强國忱氏は露支兩國の形勢 以て地方治安維持の任にあたらし官感長强國忱氏は露支兩國の形勢 以て地方治安維持の任にあたらし ハルビンの學生

奉軍前方部隊へ 武器多數を輸送 北寧、打通兩線經由で

打通線を出国機・ 歩兵統一萬挺・ 歩兵統一萬挺・

大馬賊團の

三年度

は夜明け迄延期した「ロスアンゼルス十六日發至急報」ツェ伯號は今日午前一点

時四十五

からマインス、フイールドに到る道路約十五哩は自動車を以て溢れて居るツエ低號からの消息ではエ衆が直船を待ち焦がれて集まつて居る警官連は軍隊の様な戦格さで之を整理して居るロスアンゼルス、アイールド飛行場には最早十萬の群

日本時間午後六時五十一分) 着陸場たる常飛行場上空に塗した

し時刻を待つ

『マインスフイールド廿六日發電』ツエ偵號はロスアンゼルス市上窓を經由して午前一時五十一分へ

着陸飛行場の上空に到着

の上窓を旋回しながら時刻を待つかも知れぬとッケナー博士は最低温時に着陸したいと指揮して居る模様であるから同酷は明拂願送ロスアンゼルスッケナー博士は最低温時に着陸したいと指揮して居る模様であるから同酷は明拂願送

下船後に草鹿少佐が演説

ルド廿六日豫電』ツエ伯號乘客は今拂廳檢船後簡單な我陽の検査を

114 排除規能後簡単な税闘の捜査を満ましてロスア

だロシャ館の宣観に不

空時間は實に七十九時二十三分である。
空時間は實に七十九時二十三分である。
でインスフィールド飛行場に歸來し午前五時三十六分(満洲時間午でインスフィールド飛行場に歸來し午前五時三十六分(満洲時間午でスアンゼルス廿六日發至急報)ツェ伯號はサンデェゴ訪問より

州里を懸攻撃するなどといふてゐ も出來ぬが

あり例のセミョノア散軍などにしているものは全くの無力では発露人なるものは全くの無力で

も何の力も持ち合せないのは事

大探照燈が皎々と輝く

思はれぬが、支那側の

認識したほ

内訌と凶作とに悩んでゐたロシャ

度の確實性を有するものなりや、

昨夜九時半着陸鬥

本のであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いでありませんが、それさへも合いでありませんが、それさへも合いでありませんが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさへも合いであったが、それさんが、それさへも合いであったが、それさんものであったが、それさんを表している。

補助はいゝが中央軍の振道は原平で之がたぬ努めで陽外の奉天兵をで之がたぬ努めで陽外の奉天兵をを避けてゐる。随つて國民兵が

であることが論であって、後等は約 一葉を抵棄として活躍して居た戦 一葉をに重り放火線響を窓にし出るることが論であって、後等は約 相常の微響であるらしいと してあないが、人歌にも兇傷あり してよ行動に関し背景に等器が 相常の微響であるらしいと

時局もその 舞姫と凱痴氣さわぎ 張學良氏が何、朱兩氏招待 つちのけて

である、即ち特産物の出極り期に である、即ち特産物の出極り期に である、即ち特産物の出極り期に である、即ち特産物の出極り期に

明せる支那軍隊に供給すべき馬利十のせる支那軍隊に供給すべき馬利十

器下各方面に涌達二十五六の兩日 があった。塩順緊急移會長は急遽

汪支那公使 外相訪問

宗経暦 【養順特億二十六日發】爾支間の | 明した

昭和 現計 超過額は一億九千萬圓 三年度歲人出 七月末締切り

と 「東京十六日襲電」昭和三年度歳 内張年度に繰越したる歳出状滅に 原現計総切の結果自由財滅たる郷 なた
「東京十六日襲電」昭和三年度歳
「地域
「東京十六日襲電」昭和三年度
「地域
「東京十六日襲電」
「東京十六日襲電」
「東京十六日東西
「東京十八日東西
「東京十八日東西
「東京十八日東西
「東京十八日東西
「東京十八日東西
「東京十八日東西
「東京11年)
「

エルサレム問題

英首相リ卿と會談

不用總額

二千八百四十六萬餘圓 額は二千四百七十三萬七千圓で

は多分特別使節としてパレスタインに近く旅遊されるであらうとアラビア人、ユダヤ人の人種酸につき元印度總督リーデング解と長時間創設した、右につき消息通の見る處に依るとリーデング解と 學校を襲撃

| 「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」 | 「「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」

今夜七時半-協和會館 號到着映畵 一の實況 三、ツェッペリン伯號到着實況 一、満洲を拓く者一卷 二、満洲鐵道守備 エレサレムの人権戦争に近きハイー際京し首相官邸に入つだ。 「マルタニ十六日發電」 英戦闘艦 別形に起き休室した残口首相は今然 別形に起き休室した残口首相は今 英軍艦急航 アス號も同地に急派さる」こと」 外交協會支部を 會 濱口首相歸京

果を腹み得る」といふのだる。 とによつてのみ開拓者としてのな とによつてのみ開拓者としてのな

た武田東といふ一届 りは全く顔凡蛇である。 りは全く顔凡蛇であるが、 で活動してゐるが、 である。

各縣に設立電命 組織的な排日貨準備

果を覆み得る」といふのだ▲、で先づ三度の飯は高い、たって働き、配も修率があかに後等の上にある▲筋肉等働きの先頭にかっては、これにある▲筋肉等働に於ては、これにない。 見事にが吹き

各學校教員が り月本を經由して り月本を經由して

り日本を終出し二十六日のうらる大浦勢機領事ジルバー氏は浦鷹よ

大連勞農領事歸連

關東廳異動

排日鼓吹支那學生に

九七六〇申〇 不六〇四五七後 〇五〇九六場 〇三一五一引

景泉

事實は如何と

洲 H

牛乳

键四四六三番

大連市 吉野町 二五 野中醫

金融機な

据 汪 憲治 污醫

井町大連製肉所 西側のフラミン特内は 東側側のフラミン

备。一几四話電

藥剤師··友田莞

科器尿淡毒梅廖皮 [] [] 京場広西·播盤常·極西德大 多八二五七話電

確正 裁助中田…師削藥 中前三時早くも函館機外に着く、 大山菜棚の探需事件は時内におい て委鼠連選任を以て無事解決し青 報むる事が出来た、朝金後八時上 といて破籃事構の調査を必地よく

東で大心に向ふ、半時養、此處は、大小二つの池より成り階級人たる活火山脈ヶ岳の継委を撤し、「成、大小二つの池より成り階級人の後れたる活火山脈ヶ岳の継委を撤し、「大つて少離、戦慄すべき環火の物として計員さる

第十四传《日本田》

降雨を物こもせず

反者として指示及申告されたもの既報二十二日の諸事取締デーに違 率天の地方変貨改選期も目睫の間 ※を飲むからサ」とは成程道理で を注音をしてまたが新任の大岩地方紙 ある▲仲居と云へぼ湯崎子温泉の 長は語る 女將最近率天に乗出して八幡町の 長さ音をしてまたりで可容徹見

一劉長春八一分二降工玄景、三多田 一雕世榮(二分一九

は左の通り

三膝瑞林

自人馬自 神勢力 動 車車車車

農實生見學

本年の鮮内鐵

日本一周記

西長を訪問態節り其他興味ある映の温泉を計開館節り其他興味の村の時間と変により態度が

関見強りの既然を関うして来たが、本年度の と思はれるほど見分けが財産と思いるの、ネクタイは入の と思はれるほど見分けが財産といるの、ネクタイは入の と思はれるほど見分けが財産といる名。 と思はれるほど見分けが財産の を以て悪へられてるる。 大の目には純細製か を以て悪へられてるる。 大の目には純細製か を関係の安値であるが、本年度の が流行してある。 大綱で と思ばれるほど見分けが財産で はいるの安値であるが、本年度の が成りはばけ に問ふ 體育協會

奉天水泳倶樂部S

は優勝者、バックの優勝者等が居 四分感が居り。昨年の五十百の全 四分感が居り。昨年の五十百の全

州外は如何に悪く見渡っ 後の二百リレーに於て際時 があるのだ。而して吾々が あるのだ。而して吾々が 自けたのは育成の申出の全

内外に對する作職であつ

る。よし實際弱くとも準備の本僧な刺戟のかい率天ま

では「新聞には「結局製門家の價値を批っては「新聞には「結局製門家の價値を批ってがラリと變つた。そ

田部南種擬場語状地等を観察する日の献日に証り炭礦地區内の採種

密輸犯人に對し

京城府内東江道一陸軍官会第二十 第二十年後二時頃お友達二名と東江 第一人道閣上派の水たまりにて水南 第一人道閣上派の水たまりにて水南 が、中縣近を整け、急を聞いて馳せ が、中縣近を整け、急を聞いて馳せ 変

で 野選店開業の許可運動に代えりで とこが京都に行って影物からお響備して居るのでマスがなこれで 大校四千圓もかけてチャンと 一部はを繋ぶべしお回いてお臭れやす要は 人間の を 一巻 とこが京都に行って影物からお響がしないなんて教生でマスがなこれで と登は しまった と登は しまった と登は しまった である 本意し般 歌近し金六の岩ケ彩の クリ以上 の居る住宅も別郷に出來る事とな は勿総内部も際出來る等で當日の は勿総内部も際出來る等で當日の は勿総内部も際出來る等で當日の は勿能内部も際出來る等で當日の

地方委員は市政に

眞劍味を缺ぐ

大岩地方係長語る

漢江人道橋

南軍司令官披露宴

大正十三年の漢江大洪水に刺戯されて百二十萬圓の豆費を投じて進運びとなったが、內務電局は、既に七人道機波が大下水に刺戯されて第二十萬圓の豆費を投じて進運びとなったが、內務電局は「大洪水に刺戯される。大道機波が大きなったが、內務電局は「大洪水に刺戯される。

長銃を分譲

朝鮮新義州生れ千金寨鐵道南震市 がもの男は十四日午後一時頃前記 五名の男は十四日午後一時頃前記 下である事を嗅ぎつげた巡響風の四 一大の野は十四日午後一時頃前記 下である。 「本の男は十四日午後一時頃前記 下である。 「本の男は十四日午後一時頃前記 下である。」 「本のででである。」 「本のでである。」 「本のでは、「本のででである。」 「本のでは、「本のででである。」 「本のでは、「本のででである。」 「本のでは、「本のででである。」 「本のでは、「本のでである。」 「本のでは、「本のでである。」 「本のでは、「本のでである。」 「本のでは、「本のでである。」 「本のでは、「本のでである。」 「本のでは、「本のでは、「本のででである。」 「本のでは、「本のでは、「本のでである。」 「本のでは、「本のでは

市中軍率先して

陣容を整ふ

保險的易生命

來月の聯合大運動會

新公會堂は

一月中旬落成

風風のモダンな建築

掏摸犯人逮捕

スポンデリーグ戦

オッ健康

辰作物は概して

野 安東中壁校野球部は満州建選より の野球職 の野球職 の野球職 の野球職 が電がして以来炎天下に毎日猛練習 を観けてあるが、二十五日午後三 特より新嚢州電流が三十五日午後三 け液源するかと非常なる人無であ 安中と新義州實業

其他邊鄙の御住居にて御買求めに御不便の

大連市伊勢町二十二番地大連市伊勢町二十二番地

たる店にて買ふと否やにて効果に多大の発有之候

ンドイツチ有ます

鐵血團の

青訓所の射撃

地震・一定を中央の ・ とする聯合軍は来る九月一日ス ・ とする聯合軍は来る九月一日ス ・ がンジ野球のリーグ戦を催すと ・ 動脈波多江知路氏は劔道状況砲楽 ・ のはめ来る二日午後一時二十分来 ・ では、一日のでは、日本ので

普通學生團體の部 (三食付二圓) 一一食付宿泊料の部 | 三圓華銭以上 | 圓迄上

茶代廢止大勉强

普通學生團體の部

大連

東信濃町

軍手現金卸

を召集し職場保險に終て興催中の朝鮮職場生を召集し職場での間に京城、釜山日本の間に京城、釜山日本の間に京城、釜山田本の間に京城、釜山田本の間に京城、釜山田本の間に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、釜山田本の町に京城、

大連市大学可含泉遊園至 一入院隨 院長 內田鋪一

中後六時在城官民三百五十名を龍中後六時在城官民三百五十名を龍 01_C たる洋品店、難店に日用難貨店に床屋等にて販売して洗濯用石鹸界の大王

形 門 演畫

メリノー洗濯粉石鹼

漢江上流において

- 頭(こん)で右端収拠人に相違なく金は附近立木の中に膨胀したことを自由除験ある見込で引続き引致収

型五分は明年秋全區間開業の後に開業兼定

舞されるものだから……」と云ふ

理論に、残部は明年中 国會迄に、花溪金剛山間八 日本に、花溪金剛山間八 日本に、花溪金剛山間八

アルバム 名所寫

たったが中旬小夏商 常 松 味 河 板 塚 店 三河町十八番地 東京 1915年 名所寫眞帖

度使へ 5 ば 興氣に召す サボール 炊事用品

電話一〇五七八八番

評ナ

突グ式グ

皆様おまちかねの 樽づめ生ビールが 到着いたしました 二階ホールも夏向きに新裝を こらしました。 夏の夕べのナニブラの雜沓を 眺めながらの 生ビールの味は

叉格别

洩 速 町 サクラカフヱー

產 婦人の 女醫永井清の病に婦人の手で

液

温泉學校を設立

山

熊岳城小學校長計

瓦房店

文店出張所 一般で、東京丸ノ内出張東京、東京丸ノ内出張 一般・東京、東京丸ノ内出張東京、東京丸ノ内出張

積資

立本

日本賣藥株式會社 電話五八〇四番 宮 場時 高砂工業會社製 朝各煖石 種房綿 の爲めに 野滿總代理店 在庫豐富多少に拘らず御用命願ます 子供自轉車大賣出し 西岡の 御子供様方の御壯健 金拾九圓五拾錢 子供自轉車を 連市伊勢町日本橋際 ス 日 1用製 御すゝめ致します 太 保各 利 溫種 會株社式 蠅·南京蟲·蚊 其他害蟲一切 術 品品 進 シテ最モ高 " 太利 料+ 展 本品は在來の驅除劑に比し絕大の效

覽會

大

理石

製作

大連石炭商

B

画

瓷

0

番

力あることは既に定評あり是非一度 御使用を乞ふ cğmi 矢野元商店 大連市紀伊町五五



番000五話電

りが生代を重要

8

17

構造-計算-鑑定宗像建築事務所 出版社宗像主建築-設計-監督宗像建築事務所 出版社宗像主

松山善戦し

満倶辛勝

ツエ伯號上よりの特報

日本にも大飛行船が欲しい」と 草鹿少佐威慨深く語る へンの杯をあげ 完成を祝す

電だけについて考へて見ても汽船による太平洋横断よりもずつと愉快なものであつた『電通ニュノの健康を祈って乾杯した草鹿少佐は蠍と「夢になる」といふことである、こん度の航空は遠度の働は言はずもがな他のたの大飛行を闡程を將に終らんとするに當り余の深く感ずるところは日本もまたこのツェ伯號のやこの大飛行を闡程を將に終らんとするに當り余の深く感ずるところは日本もまたこのツェ伯號のやこの大飛行を顧程を將に終らんとするに當り余の深く感ずるところは日本もまたこのツェ伯號のやこの健康を祈って乾杯した草鹿少佐は蠍獣に樹えぬ職将で余に語ると、われ等はサロンに集つてシャと美しく海は油の如く配盤に繋の揺曳するをみるのみ、われ等はサロンに集つてシャと美しい。

と、『本天機電二十六日数』本日午後 を質が列車が満線線等が収を發した旅 原因は日下取調べ中であるが單 線を双方解から翼車したが通地 原因は日下取調べ中であるが單 はカーブとなつてみるため先の 見透しつかず、それと知つて急 としたものであると

ラヂオを通じて

挨拶や感想談を

ロスアンゼルスに到着直後に

羅貨 "浪華洋行—電話

la

当公

屋問蜜蜂

密蜂

岐阜縣本

ツエ伯號搭乘の六氏

桑港の白熱的歡迎 灣内軍艦から發火信號

並んで織を下し、設火信號を以て我等の船に鞭滅の意を表した『電通ニューヨーク、アメリカン南社迎に答へるものよ如く桑港灣上に大圓を一ツ描いた、酸内の戦器は二列に盛に窓からボーズして之れに腹じて居る、金門酸階を越て市上窓に塗すると本船は市の大歓なつた、其あるものからは鄭麒勝や活動寫戦態影勝のレンズが向けられて居る、乗客も心得たものでなった、其あるものからは鄭麒勝や活動寫戦態影勝のレンズが向けられて居る、乗客も心得たものでなった、其あるものからは鄭麒勝や活動寫戦態影響のレンズが向けられて居る、乗客も心得たものでなった。其あるものからは鄭麒・活動寫戦態を勝のレンズが向けられて居る、乗客も心得たものでなった。

八類最初の旅を終る日

往かんとして次第に水平線に近づいてゐる『電通ニューョーク、アメリカン雨社各國版標所有』 『ロスアンゼルス廿六日發電』ア ると場内の観察は悠久園形を描き 分。 ラデオ会社がツェ低號か 頭上を飛行する巨船の姿を見なが 上歌メリカ、ラデオ会社がツェ低號か 頭上を飛行する巨船の姿を見なが 上歌 ち (日本時間九時三十分) であ の途についた 要 有】

サンヂエゴ訪問

着陸を待佗びる観衆

劃時代的な記錄

再び海上を羅府へ

【東京廿六日礎電】ツェ伯號のサーンフランシ

廿二分である

「雅寮羅府着所要時間は七十五時

目動車か鉢合せ

国タク

は自轉車と衝突

旹

樣

本第八回 (補俱宗正中堅緑川左 「本学)の三邪孫は吉野好捕し中島 の遊館で在原三量に走つて刺さ の遊館で在原三量に走つて刺さ の遊館で在原三量に走つて刺さ の遊館では、所軍零)

大三質業戦

時期は廿六日午前五時頃である【電通ニューヨーク、アメリカン雨社各國版權所有】を休止し、ゆるやかな速度を以てロスアンゼルスの方へ南下中である。マインスフイールド葡陸豫定を休止し、ゆるやかな速度を以てロスアンゼルスの方へ南下中である。マインスフイールド葡陸豫定を依止し、ゆるやかな速度を以てロスアンゼルスの方へ南下中である。マインスフイールド葡陸豫定を放ければ、

馘首されて

現金廉賣デー記念の爲

仕

一般等二十三日午後三時十三公 一般等して恰も六十八時間九公 快速汽船により普通十三、 要する距離を懐か二日二十時 分で辨験したおけで太平洋 分で辨験したおけで太平洋 上編時代的の時間記録は斯、 大尉、日本海軍京鹿少佐大尉、日本海軍京鹿少佐 で時半から協和合権に於 地の映写會は 出 したッエッベチン保 観 報 ム伯號の姿に 昨夜の映畵會大盛況 大喜び

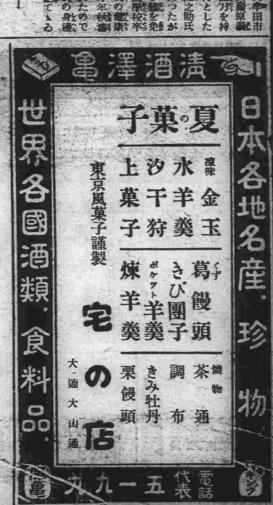
徐價品 本日

の一度物で雨傘に ダイヤの指輪で 黄金属 直输入商 平 日時金融直輸入商 平日 中は 山 内 履 浪滅町大連商品館(右入口) ヒス 話四四 王四番





廿七・八兩日は 特に現金御買上の方に限



郵便切手の

本午前八時平 灣邏者の到看、馬 本午前八時平 灣邏者の到看、馬 至同九時四十分、豫漢馬伽運動 全自午前十時至同十一時、雅選 全自午前十時至同十一時、雅選 無談會▲正午、會食、解散、雅 棚田虎吉、委員長陸軍步兵中佐 増田虎吉、委員長陸軍少佐南義人、 周同中尉宮本四郎、同同守永免 同同中尉宮本四郎、同同守永免 局同中尉宮本四郎、同同守永免

島口村 閱藤原桉口島田本

正面衝突

参加人員は三名でこの選手

ツエ伯號映

夜の

リ大特價以下の品は全部一割引 します 盃謹

二十七月二十八日兩日間 話六三一八 君がそこのうちこほく。 とれている 大変なのは百も承知だの 僕はれ、

弊は心得て、実知子の方に笑離をだ。そして何やら耳打ちをした。

間あなた別の座敷に避けてゐて下

ら、僕は友永君に君の今夜の行

育役に 花をもと

んと物解かな呼吸の気管であるが の外れの一間に通された。し

解決へ翻役も

二間つい

餌役は餌役丈

即役のせなべ

と、受話機を取上げて苛みと慶英鵬は不承無精に電話室へはひ

* 僕、小森だが、

一體彼どうして僕があなたをこゝ一體彼どうして僕があなたをこゝ

餌役の無事は 問題を餌役の

製がコもあるが

、英輔は苦笑を見せて「…

流二六

の愛人草野君からの電話でしたよ

次

(A)

窓

(82)

出日日 即役も女房の前 できな房の前では只だの人 後山 照 名 氏 後山 照 名 氏

腕の簡見せて餌役仲に入り の死 の死

にんしん按腹乳もみ其他腰痛手足の痛む御方線 は関來堂下さい 「リタマッサージあんぶく 大連市美濃町二五電大六八八 リタマッサージあんぶく

虚咳切 老人子供の滋築

0一四五話電

六四八番 金針他共綱金非是ラナエ細

専の一唯洲満 〜店弊の店門

思ふんだが、整支へあるまいね…「僕だよ!草野だよ……お雅麗か

英輔は眉を深くひそめて眩くやへ」

大連 済 圏 大連 済 圏 田プロへ皆んなの眼 紀 南 南 一 大連 谷 奈 圏 大連 本 の 薬 大連 木 の 薬

英幅は層をひそめながら問

額役へ女房も同じい」度削 部では自復を切つて手を打たせ 大連 大 遊 大連 大 遊 大連 大 遊

今から?さらだね、しかし

程中通車電町渡信市庫大 番九五八四話電



数力肝油の25倍

F記辞症は、不知不識の間に於るヴィタミンAの缺乏に因るこ

症其他の眼炎、小兒發育障碍、榮養障碍諸

包装 50環人 100採入 1600採入の三種

東京室町 三共株式會社

四十二 英雄

船來食料品 酒 和盛洋行 **兴健師伊幣町返逐町館**



知識の仕業です。 なったり、嘔吐を催し なったり、嘔吐を催し なったり、嘔吐を催し なったり、嘔吐を催し



監論館次越申得りあ子册をす題と『単順いしる恐動

M-JOL



皆様にキット御氣に召す 吉野町の内田へ

阿波國點會此大連支店

だっようち出血ちで滴いはちきれち、 意志でする神経ステーチを表演の 十五日分四円

腦合 9

〇 和州田邊産 **大河屋高店** 一次 品**日梅干**(四貫語) 一条地産有名**澤 佐**(十四貫語) 大連市播磨町二七 大連市播磨町二七 大連市飲島町否奏橋角 佐志醫院 産内 電話六五〇二番



日本 鄭縣株大連出張所

回社船大連出机

間

紙

大山通り切符邊寶所電七〇三四大山通り切符邊寶所 東來洋行 電話九五〇六

私しゃ備前の岡山生

机

ちびる病氣はまだ知ら

國際運輸輸試

大量入荷一

特價提供

● 審別行人神戸 客お断り あ

ものにて露支問題眞相の諒解其今回の訪日は個人として來れる

敷の魔間で一室は御童室となり他の小三室も魔間一窓は島子家・灘鹿を黥節し得る理想解診試となつてある。五室中二壁は二十塵ングリリトで家建で五壁に分れ探光通風申分なく春夏秋冬適宜に建工され、同年九月鮻成した宮中大奥御常御殿に近き献火鐵筬コ

準備は常ほりなく完了する筈である

療法縣の一府大縣から歐選中であるが、九月半頃は正副四名

は二十四日二十時三十分着列車 は二十四日二十時三十分着列車 で来連したが最近の哈爾賓事情 で来連したが最近の哈爾賓事情 に就て大要左の如く語る に就て大要左の如く語る で就で表面非常に平識である い、露支人間には失張相常根弧い 反感が抱めれてゐるやう

なつて居り、此決定を以て御慶事の

の多くセミョノフ特軍の子息は二 らんと策励し支那軍に加入するも らんと策励し支那軍に加入するも の多くセミョノフ特軍の子息は二

の重傷を負はせたのもその一例での重傷を負はせたのもその一例で

深露人が派来露人で秘密を支那山崎

スカヤ街で赤

るやうである。

相當慘め

・ 哈爾賓を中心とし

田製の本社主催のツェツベリンの競売行船到着光製機器は 託送した郵便飛行機が降のため二郎級の本社主催のツェツベリンの競売行船到着光製機器は 託送した郵便飛行機が降のため二郎なるロスアンゼルスに近づきつくある互船の継承を目のあたり見て快哉を叫ばざるものは断たるロスアンゼルスに近づきつくある互船の継承を目のあたり見て快哉を叫ばざるものは断たるロスアンゼルスに近づきつくある互船の継承を目のあたり見て快哉を叫ばざるものはあるまい、同映鑑賞は二十六、七曜日午後七時三十分より織和會館に上映する、入場料は一名金十銭である

あるが、露支とも幾多の密値を放

支間の戦争は支那の出続一つであ 能つてゐるやうな狀態である、露 がつてゐるやうな狀態である、露

かれさらな模様はない

斯長、市內各警察署長

軍馬徴發の

露人を銃殺

| 三日前にハイラルに來り露支開歌|| 三日前にハイラルに來り露支開歌

お来の危险観されてる者は片ツ端では支那の軍警で保たれてあるも

から逮捕牧容してゐるが、最近二

けふ着任した太田長官と家族

一個に曇うる需要品は哈爾賓から 本天側は 南方政府との側 「満洲里二十六日愛電」 海拉爾支 を開資、長春間の夜間運行列車 に止まりはせぬかと思はれる、然 軍場を微愛したので支那官殿は直 た哈爾賓、長春間の夜間運行列車 に止まりはせぬかと思はれる、然 軍場を微愛したので支那官殿は直 た哈爾賓、長春間の夜間運行列車 に止まりはせぬかと思はれる、然 軍場を微愛したので支那官殿は直 は赤深の暴行が時々あるので乘客 し現在の所露支交渉倉職が再び閉 に逮捕銃殺した

奉天側は 南方政府との開るが

止邪を嚴に區別し

十六日入港のうらる丸で來連した 氏は語る 全く個人的の關係でやめるのさ 全任中は色々お世話になつた、 今度來る中谷警将局長は自分の 領滅と云太關係もあるから事務 の引欄等も都合が好いと思ふ、 自分は南支の方を見てないから 此機會に北平、天津、上海等を 此機會に北平、天津、上海等を 上海等を

明な政治をやる

人事の異動は濫りに行はぬ

だが併し、世界人類、有史以來

ねばならぬ。

した。それだけのこと。

Z伯號、とうく太平洋を調節

大觀小觀

支那には

因縁が深い

2.30

もついたといふるの。

鈴木特務機關長

飛行機によつての。 なくてはならぬ。航空船でなく、 飛行機によつての。

かく航空によっての世界一周、 人類の翻期的時代を示しつ、ある して露支の動態の一角では、依然と

ある。要するに重ねて云ふが明めないのだから除り動かさな知らないのだから除り動かさない。とな事情から静めた位でけが色々な事情から静めた位では自分自身が確別を

けさせられる由に承る。御分娩も十

電響の手で東京府、神奈川縣、千葉縣、群馬縣、茨城縣、栃木 ボタケが率仕することになつてゐる、一方光梁の御乳へは目下島 本タケが率仕することになつてゐる、一方光梁の御乳へは目下島 本タケが率仕することになつてゐる、一方光梁の御乳へは目下島 ボタケが率仕することになつてゐる、一方光梁の御乳へは目下島 で東京府、神奈川縣、千葉縣、群馬縣、茨城縣、栃木 に富盛の手で東京府、神奈川縣、千葉縣、群馬縣、茨城縣、栃木 に高級の手で東京府、神奈川縣、千葉縣、群馬縣、茨城縣、栃木 高級の手で東京府、神奈川縣、千葉縣、群馬縣、茨城縣、栃木 高級の手で東京府、神奈川縣、千葉縣、群馬縣、茨城縣、栃木

天派は積極的に戰ひ得ぬ

め女も交つた五百名餘の等農露人を所だつた牧学所を出向ひの呼海は間よ同様の特遇であるためなりのであるためなりのであるためなりのであるためなりのであるというない。

「東京二十六日命電」柴山御用邸に照宮殿下と

させられる由に承る。御分娩も十月早々と拜談され御蕭衢の優野後陛下には一切御外出の事なく御目出度き日まで御鬱素を観いれたが、本る二十八日戀繁帰出されたが、本る二十八日戀繁帰出されたが、本る二十八日戀繁帰出されたが、

送には選幸遊ばす御豫定と承る、御産殿は昨年一月内児家の手で行に御内定あらせられた、倘御用邸に御避暑中の天皇陛下にも夫は來る九月十四日戌の日を以て、御帶親は閑院宮殿下率仕し御事

御着帶の御儀は來月十四日

に拝診さる

奉仕者は近く決定

北滿露支

人間に

一荻川放談8

関媚なる山水、響歌なる襲歩、地に比べて心動ともに、どことなく安らかなるを感ずるや響かるべし、是れ旅艇の持つ地方的特色ならずとせんや、支荷子にでも酸を縦たへて、自己の任所をも酸を縦たへて、自己の任所をあると、解奈良縣に等しき関東

長官來 0

あっては、聊か物足りなが、それが此歌聞を出で を繋んずる人さえある。 に跳する同情が、斯う

ひを解くに足る、長官は其双層 通信員に語るところは、此間違 通信員に語るところは、此間違

和郷を紹かんとの決意を荷ふ、北菱でに、日支麻民族の融合と、之をに、日支麻民族の融合と、之をに、田支麻民族の融合と、之を

世決意のあらんか、養顔なる陽小なる隣線にはあし、そうしての能率を與ふは易し、そうしての能率を與ふは易し、そうしての能率を與ふは易し、そうしての。 代と 州での働き振りを示すべきは で居らぬ、然も日本人として滿 である。

加えても好し、此地を北支那賢 大連それに旅順を含め、金州を大連それに旅順を含め、金州を

日本の爲だが、其半面に之で支 外で日本人が之を襲す、素より

自を益することにもなる、之が 出來ぬでは、新長官期待の日支 離金を附ひさせ得まい、此事は 離鑑治線長官職賞の及ぶ配園に を書くには除白がない、本 ことを書くには除白がない、本 ことを書くには除白がない、本 を始むるが好い、他を利するは

と観て、そうした仕事は彼に與 るなり、日本文化に服したものるなり、日本文化に服したもの の仕事を悪ふの因をなすと は此事が、支那人をして日本那人をそれへ誘導したば、人

日入地からる丸で水道

間し就任の検護をなし即日歸京し続機は二十五日午後西賦寺公を訪り 仙石總裁 きのふ園公訪問

雪齋翁墓前祭

を記している。 三は充分に合格できます。 には充分に合格できます。 には充分に合格できます。 には充分に合格できます。

か金子雪質線近いて既に五年となるで、線が主宰して居った悪東日 日なる十八日午前十時鎖前屯の裏 所に於て「雪質線裏町では鈴の五周忌。 東すること」なった、逝ける翁を思 地に縁集されたいと

▲太田政弘氏(関東圏文書課長) 「同件にて二十六日入港のうら」 る丸にて着任 る丸にて着任 の高麗に記てして日野はよる疑問を人相學大家趣味が良いなイブの要様が良い 良人を出世させる妻の人相

乙伯號到着映畵會

今明日午後七時半より

協和會館に於て上映

たので、家庭でも病院でも非常なの無い病人でも、一目見 病人料理の持八方

病氣、直、效く民間療法

▲ 小林線太郎氏(長官秘書) 同上 同上

を御存知です

婦人病。治女交の點方

経がには一層も八つが喜ばる

子供の書きおいる作う方 大病の方に直ぐ数能の現る、珍らしい物を『よくだ病の方に直ぐ数能の現る、珍らしい物を『ような世界の醫界で蘇嗾してゐる療法です。 そ

味のお八つの種々を『主婚之友』九月號に破表して大評。 であるだとお子様方には一層お、でありまでれる歌歌のお八つの種々を『主婚之友』九月號に破表して大評。 「時代が休みだとお子様方には一層お、つか窓ばれます。 を御存知ですかの

良人を横取りされの心得 の機関な時代に良人の心を確りと摑むとは受りといる時に男の心は動搖するか。如何にしどういふ時に男の心は動搖するか。如何にし

玄米飯や半場米飯を

では、大人ととした。九月三日のですかり、大月とくするでは、大月ととした。九月三日の大月の大月日 知ですかり

されて大学戦の高級を是非早く知つて頂きたいものですとです。きずいふ悩みをもつ方に九月號で大路之友に役とです。きずいふ悩みをもつ方に九月號で大路之友に役とでする。 九月の た除ら方法 0

MANSHU NIPPO 労農軍が來月 満洲里を總改

は十八歳以上の壯丁を强制召集すべく準備中である。那軍は益々防備を固め奉天よりの增援隊が右期日迄に間に合はぬ時して大擧滿洲里、海拉爾一帶を攻撃すべく準備中なりとの説高く支【滿洲里廿五日發電】勞農軍は沈默を守つてゐるが、九月一日を期 和平不可能 國際聯盟に訴 支那軍も防煙 佣を固む

張繼氏、 長崎にて語る

(日鲜火)

に反し雨國間に和平 るが、こは支那の金 るが、こは支那の金 るが、こは支那の金 はない、勞農は東支

白系露人を率る 支那軍を援けん

た東鐵赤露從菜員に代り購入れら「綾々購入れられてゐるが白露人は、た東鐵赤露從菜員に代り購入れら「綾々購入れられてゐるが白露人は既に一千名に上り倘 セ將軍の子息海拉爾へ赴く

移局 長)と腰枝は繰り運ふまい 中谷君の方が先輩ですが、大腰は 中谷君の方が先輩ですが、大腰は 長官「さらかねえ。然し頭の具 C氏「それでは鏖闘さんは早速 毛で低えるところがあるさうです 出来ませんか」 出来ませんか」 B氏「拡幅散跡のやらに植林は

云つてまずねし

うらる丸上

甲板談話室で

漫

太田新長官を中心に

です」

・ 長官「何も出來ません、頗る無
・ しませんか」
・ 長官「質は見一度伊潔君(多書)
・ ませんか」
・ ませんか」
・ ませんか」 Pfでしては如何です」 学行しては如何です」

はめやうかな」 出下氏「ゴルフは人に見られないで観響が出来ますから私共のや がで観響が出来ますから私共のや

があるがね、多喜

間の身體は汗を滅さないと顧るとれて、一世氏「四人保弘道さんはよく人」 長官「僕等にも出來るものなら

着任の祝杯

本 官、井上工大職長、土職高等地級
本 官、井上工大職長、土職高等地級
本 官、井上工大職長、土職高等地級
を 官、井上工大職長、土職高等地級

日下氏「仙石さん(硝鐵繪製) 音響人林下前長官の後を受け渡り 首相から「此人物ならば」と指紙 つけられた太田新任闘東長官は「 正と不正の區別は判然とするつも りだ」と強い信念を離に性めて、 たみえ夫人、令息政信さん令緩り たみえ夫人、令息政信さん令緩り ける着任の太田關東長官談 つて、どうしても衆を味方にしるであ

關東長官々邸で

で和平的解決を希認とある。 して和平的解決を希認とある。 して和平的解決を希認とある。

種子瓜の公事はてずして秋の風 天氣豫報

何となく時代錯誤の感。

在旅官民の伺候式後

憲兵分隊長着任

適けずの運

を現

は

B

一分(滿洲時間

霞ヶ浦を出

で初めて汽船に遭遇

一哩遠泳合格者

低者もなく結局左の八名が入賞し

3

登録は頗る 明 瞭で遥かに見渡す水平線上には低く暗雲の帯がたの快味に悪まれ船は一時間七十哩の快速力をもつて航進してゐるの快味に悪まれ船は一時間七十哩の快速力をもつて航進してゐる「一十五日日曜日の太平洋上は霞ケ浦出露以来

名な活動為鼠技師ハートマン氏はこの期を逃してはとばかり手早の上に帰り輝きその肚臓管に言語に絶する。ハースト新聞職の有なびき、維発の海が相接してゐる。やがて二十五日の旭日は白雲

第日は職もようで被高く且つ窓か 常日は職もようで被高く且つ窓か でる加者が少なかつたが其

この美しき洋上の日の出をフキルムに喰めたが「二百五十フイ

色に繋をあげて喜ぶのであつた。温度膨氏十四度で恰も膨秋の気

月辰馬汽船會社の白炭丸(五千中)で同船はわがツエ假號と響れ候である。八時二十分、霞ヶ浦出襲以来初めて汽船に會した、神

遅ひながら汽笛を鳴らして挟拶した

氣早やの連中

荷纒めにか」る

盛に記念署名の交換

とる如く見える。乘客一同は早く迎き出で稲に見るこの壯鵬な景を保つてゐるため海面の鴻荒くして波濤の大きくうねるのが手にートを撮つた」といつて大喜びである。この時齢は五百呎の高度

た同號が日本霞ケ浦を離陸して桑港までの所要時間は六十八時間九分であるはした、豫で歡迎の準備を整へてゐたサンフランシスコは市內外俄かに熱狂その極に達満洲時間卅六日午前十時二十二分)サンフランシスコ金門灣上にその巨大なる雄姿を現【サンフランシスコ二十五日發至急報】ツエツベリン伯號は二十五日午後六時二十二分

一科展搬入

川川爪柴藤根端道田住爪原山主將

投 捕扇壘 扇擊野 一二 三遊外

聖上の御肖像畵を

三千點を突破

追 風 眞東 乗つ 驀進

『東京十六日愛電』第十六回二科 院の搬入は秋の実術の開幕として 二十五日から搬入を開始した二十 六日の締切り遊には三千監を突破 すべしと弾烈されてゐる、館戲有 事出馬氏は瀧殿中の作品四十監、 島中馬氏は瀧殿中の作品四十監、

エ伯號より

日并特派員發

嫉妬

手斧を

を揮ひ

妻とその親娘四人を斬る

けさ王

12 自然二十四日登 計四日午後十一時(廣州時間二十五日午後 12 自然二十四日登 計四日午後十一時(廣州時間二十五日午後 13 自然三十四日登 計四日午後十一時(廣州時間二十五日午後 14 自然三十四日登 計四日午後十一時(廣州時間二十五日午後 15 自然三十四日登 計四日午後十一時(廣州時間二十五日午後 かツェ伯號は太平洋微観所要時間は僅に六十時間といふ驚異すべ 日本國民諸君の

幸福を祈る 暴風雨と濃霧の間を突破し

度四十分である、海上は目下波離まり本船は引續き追風時半)における本船の位置は北韓三十九度四十分、西經百三十一 てゐる。朝食を誦りながら相變らず例の総然たる態度で聽談を建設が浦からの所要時間は恐らく七十時間內外であらうと豫期され に三百八十哩である、卽ち午前十時半(滿洲時間二十六日午前五 た我ツェ作號は今や目指すアメリカ大陸の海岸送あますところ使 をうけその後更に速力を加へ目下七十五哩 以上の快速をもつて航進してゐる、この分で ランシスコの上窓には廿五日のまだ明るいうちに到着すべく。 膨脹に挨拶した

九月一

日大連運動場ブールで

掻拂ひ捕はる

働く

然し張は美しき妻を試れられず機 が、また友人からは妻が他の男と 一 通じてある等告げられ窓に殺意を 用意して張吉臣方に至り再び妻に 昭電を選つたが聞き入れぬので概 婚の情数に狂つた張は矢底に酸し 特つたま斧を以て妻の職部に一撃。

の競技種目および参加規

必勝を期して

お馴染の岸一郎氏の引率で

すから實満と對戦

てゐます、

二十八日滿洲俱樂部とそれが一一

營口の疑似虎疫

眞性と決定

商大軍來る

より閉場式を兼ね本年最終の水泳場では九月一日午後一時

臣をも一撃の下に仆して 全滿水 小上競技 丁權大會

規定は左の 申込みは廿八日限 ○○米リレー(以上自由型)一〇○米背泳、二○○米平泳(女子部)五○米、二○○米平泳(女子部)五○米、二○○米下泳(女子部)五○米、二○○米す泳、二○○米す泳、二○○米 中込期限八月廿八日限△申込場 申込期限八月廿八日限△申込場 市=満髏祉會課銀付満洲體宣協

共産黨員の所業か

陽街の慘劇

男は返り血を浴びて小崗子署へ自首す

南京火藥庫爆發

二十五日午後二時ごろ小端士露天 只日本の大將の額位に思ひ二十銭 に於て額入のわが建上陸下の 位の付値で置き並べて居たのだが 地者は山東生れ當時小崗 中 共に賣却した物らしく小崎・署池 中 大野 は 一般に 日本の大將の額位に思ひ二十銭 に 保存する線注意して買ひたい しと云ひ當人も陛下とは気付かず に 保存する線注意して買ひたい

小崗子露天市場で發見押收

長明

新曲 湘島 (齊勢) 杵屋 五 三郎 芳 村 孝 次郎

古物と共に賣る 女給の捜査額の 中 の島町九飲賞店売不審競方女器及 一 尾アキュ(二)は十七目額済 類る別機な常人の寫眞貼付の上大 通響に捜査かた願つて来た。像に よれば大連に二三名の友人がある 関係上それを頼つて赴連したらし いと云ふのである

技職河

(松江邸玄闘先の場)

市劇の本舞台そのまる

三高劍道部選手 けふうらる丸で來連す を目です、皆學生の事ですから 近気一杯にやるのが取柄です、 は合は廿七日の午後三時からと いふ事ですから今日一日静騫し て充分職はせます、何分満洲は ですから戦の甲斐もあ ると云ふものです(寫眞は三高

全 画 尚等學校の 郷道大 僧に 優勝した 郷三 高等學校 の 郷道大 僧に 優勝した 郷三 高等學校 郷道部 賦 十五名は 大 郷 1 元 報 1 元 名 2 元 報 1 元 名 3 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 報 2 元 で ※ 1 元 和 3 元 報 2 元 で ※ 1 元 和 3

お待ち無ねの 九 月新 八月廿四日鹽豐一 譜

Columbia .

人型寺に於る

倉 橋 傳 助 天中軒雲月線 赤 尾 林 藏 松風軒築樂 ピアノ ダン道子 所三十六日 顕寺に於て時

ピアノ推野開蔵

生殖器障碍 淡 尿 器 满

植変たかを

ジャズバンド

性 病 粉卷米布 **電話五二六0次**

オーケストラ件奏 長 谷川 玉子 三味線、琴、尺八連中 個青くに子 枚一下上

Î ... SISTEMATE SE

俚酱

と民謠

機近江安土

子海海中勇

郷 帝風 やなぎ

144 144 144 馬 場

ルサレム郊外三ケ町村はアラビヤ人に一物も繋さず掠奪されやヤフロでは多数の猶太人が襲撃されやヤフロ 整やかな女優生活に別れたかそれ 華やかな女優生活に別れたかそれ ワードベストは際死を逃げたとエ 實石商詐欺を 人種戰で双方死傷 紅屋の娘日延べ 明治座八月與行土流、菊池幽芳原作「乳姉妹」 であるか、何は乗もあれ御試験の程を。 …… であるか、何は乗もあれ御試験の程を。 …… であるか、何は乗もあれ御試験の程を。 …… 唱 童 唄小行流の憂愛別特 歌奏を使えれ信頼詩をはなる。 大阪行选曲(下) 動州 まん 金のグラス(上) 月

おい男性と

本紙職者慰安のため沙河口戯場に上映中の紅度の娘は滿貴のため今

大連海務局對策を協議

へて強くなった可愛い見重だちは何れも赤銅で餅たやう こして 懐しい校門を入りました(寫真はけさ大廣場小學校で)

けふから小學校始まる

で会り組め洋上には難い動が漂つ ペンを走らすものもある、船客及の出の批戦を見て間もなく空は再 物投下を利用せんと類りに数響に の出の批戦を見て間もなく空は再 物投下を利用せんと類りに数響に び会り組め洋上には難い動が漂つ ペンを走らすものもある、船客中には早くも神の出の比戦を見て間もなく空は再 物投下を利用せんと類りに数響に び会り組め洋上には難い動が漂つ ペンを走らすものもある、船客中には早くも神の出の対象を見て間もなく空は再 物投下を利用せんと類りに数響に び会り組め洋上には難い動が漂つ ペンを走らすものもある、船客及

十六日常地海務局への情報による 同じく動市有支那人旅館部市中の ると 大海屋鉄の結果減似コレラと決定、恵 たので目下歌歌中であると、し間 と 大海屋鉄の結果減似コレラと決定、恵 たので目下歌歌中であると、し間 田 たので目下歌歌中であると、し間 田 たので目下歌歌中であると、し間 田 に 1 日本人の情報による 同じく動市有支那人旅館部市中の る 1 日本人の情報による 同じく動市有支那人旅館部市中の 4 日本人の情報による 同じく動・有力を対していません。

日本コロムビア富貴屋株式会社 何買上は最終のコロムピア特約店、 支店にて

粉別發

が

6

Ξ

國并紫 商科大學音樂部員

香

THE PROPERTY

こゝに會心の砒蝉伎レコードが出來ました。「明、精巧なる新吹込と新製法、この三拍子揚つて、「默阿別の名台詞、名優松本幸四郎丈が活殺自在の啖」

在 19物 田中傳左衛門 中田 動 第 高木小左衛門 中田 動 第 高木小左衛門 中田 動 第

るに至った。

レ に押されて暑いく ・ルに押されて暑いく

内地物に比

しても

色ない關東酒

組合其他の努力で着々醇良化す

漸増を示す

瓦斯の消費量

七店の内百八十店は運合参加を確

A

昭和製鋼所設置に関する製山陳情 一日午後三時大連商議を訪門村井舎 田和製個所は滿襲經營の國策上 「職、擬田、山口耐融舎頭と會見し 昭和製個所は滿襲經營の國策上 がなく、斯る薄弱な理田の下に 大惠 「本語」とは二十四 と他々、第一の会員会に於て他系 がなく、斯る薄弱な理田の下に を製った、なほ製山陳情を設し、そのらへ全補的の のもあるが、関税関係は図 とであるとの意見として関 を関へた、なほ製山陳情を設し、その を製った、なほ製山陳情を設し、を を製った、なほ製山陳情を会員は関 を関へた、なほ製山陳情を会員は関 を関へた、なほ製山陳情を会員は関 を関へた、なほ製山陳情を会員は関 を関本であるとの意見をしてる 東紙溝銀であるとの自答を製 のもあるが、関税関係は図 ところあつた

これによつて近々兩者の握手を 見るべく今後の方針としては近 見るべく今後の方針としては近 大上新會社の目論見曹其他作製 の順序であるが、運合側の業績 調査既に鬻製膏で高調査を終る が來月中旬頃まで同調査を終る が來月中旬頃まで同調査を終る が來月中旬頃まで同調査を終る が來月中旬頃まで同調査を終る を待つて竜々新會社設立の具體 が変員長は吉田秀文郎氏に決定 の模様である。

前途多望な

朝鮮鐵道の織原闢營業倉庫と な該譯着貨物の到着預は取得 な該譯着貨物の到着預は取得 ととになつたので滿續各驛と ととなった

關東州の水産業

滿洲經營論者一考を促す

『ハルビン十六日翌電』 哈爾賓競響する管

哈市競馬場總會

Ŧî.

来の方針決定の件となっています。

行条要行總額及びその内容 八月二十四日現在に於ける 八月二十四日現在に於ける

松丸孝三郎等

製鋼所問題と

大連會議所

鞍山委員の運動に對して

役員會で態度協議

運合解決

會社設立の運び

近く創立の準備に着手

上等鹽に

從來の百斤に つき六錢を八錢に 輕減を希望

を見るに(單位斤) 大正十年 同 十二年年 同 十二年年 同 二 年年年 日 二 年年年 日 二 年年年 日 二 年年年 に過去八年間の州内職移輸出數量

世に変している。 世に求むべく三井大連支店で該地に交渉中であることは既報の通りに交渉中であることは既報の通りに交渉中であることは既報の通りに外内殿の海外進出を奨励する目に州内殿の海外進出を奨励する目に、1000年間で、移輸出奨励金の引上げをなすこととなり、近く硬布を見る響すこととなり、近く硬布を見る響けている。 1000年間 100

年に比し著るしい輸出減少を来し

である、又昨年一月より七月遊の如く消費量と 本年同期の消費量と 本年同期の消費量を各月別に比較難能すれば左表

逆送貨物

昭和四年至六月二六〇二四昭和二年 同 三二三四昭和二年 同 三二三二四昭和二年 同 三二三二四昭和二年 同 三二三二四昭和二年 同 三二三四昭和二年 同 三二三四昭和二年 同一月二六〇二四

て進めば五百萬圓から一千に増加しつゝあり、此の勢

事を進めて初めて 満州郷である、斯ヶ宮ふ様な眞面である、斯ヶ宮ふ様な眞面であらう、こ **薬るものではあるまいか、** ある 白米小賣值

管社が之を継承すること」なった を対して経営されて居たが本月 を引きれば手を引きれば大阪商 を対して経営されて居たが本月 を引きれば大阪商 敦賀浦港航路 北日 本が就航

提出主政案 ・ で開催される補別商器聯合は九月九日大連商職権上に於て、 ・ で開催される補別商器聯合は九月九日大連商職権上に於て、 ・ 來月大連商議で、 ・ 來月大連商議で、 ・ 來月大連商議で、 ・ 來月大連商議で、 ・ 本方・

内地は小締り 一十 は 小締り 一十 は 小締り 一十 は 一十 は 一十 後高 一十 後高 と 内地は 小締り に たが常市は 景道く五品の定期は れたが常市は 景道く五品の定期は れたが常市は 景道く五品の定期は な 高新東は六七十 銭高維新豆は 二十 ・ 4 銭 で と 軟調を 辿り 銭 砂・ 場合 ・ 4 銭 で と 軟調を 辿り 銭 砂・ 場合 ・ 4 銭 で と 軟調を 辿り 銭 砂・ 場合 ・ 4 銭 で と 軟調を 辿り も 場合 ・ 5 と 下 6 を 下 6 と 下 6

奥地市沢(計場)

砂湯の準備も整ひました

場所はお

一百四十二萬八百立方呎に跳し、即ち右衷の如く昨年十二月の二千 識の議案

然も支那の海で取ってとして可なり大きい仕

六萬八千九百立方呎の増加を示した百立方呎を比較すれば六百三十七百立方呎を比較すれば六百三十七百立方呎の増加を示し

况 産

大阪線、 大阪線、 十月月 前場寄 前場引 十月月 前場的 1層の 十二月 11210 1120 1120 1230 1120 1230 1120 1230

来る八月二十八日金子雪齋先生会の日に相當り 一次の際は光明系版東郷社に於て墨行祭。 第一時で、一次の際は光明系版東郷社に於て墨行祭。 一次の際は光明系版東郷社に於て墨行祭。 大陸青年團 大陸青年團

(國) 完成方式分型 (國) 完成方式分型 (國) 完成(3) 完成(3) 强健肠 図者のない所で不時の病 の 関下の護身用として 本剤機帶を御奬めしま す。 肺尖カター

良い 書油は

手形交換高(廿六日) 金、 2元枚 二、100次 二、100次 三、100次 三、1

中

三帝

株式出來高(十六日)

米商あつて科學なく、社氏、保飯事任按師や各組員の

◆・・大連商議、商議聯合大会・・大連商議、商議聯合大会・・大連商議、商議聯合大会ではなく

したドイク産業界の所属 ・関税部を関する ・関税部を関する ・関税部を関する ・関制に概たはる日支通 の如きも双方互に保護主 の如きも双方互に保護主

◆…吾等は此の偉大なる赤

大連に於ける瓦斯需給の狀態を觀ることは一つの特色である、即ちるに近年人口の増加著るしきもの 満洲に於ける冬期の暖房製置としてのストーヴペーテカは主として 石炭を用ふるため之が必然の総果 として瓦斯消費量は著るしく減少りて内地の として瓦斯消費量は著るしく減少りで内地の

殊に夏季の需要増大

定して居り を発生の不便に想到すれば所謂 が数店に過ぎず、それすら精磁として大 外数店に過ぎず、それすら特徴氏 外数店に過ぎず、それすら特徴氏 外数店に過ぎず、それすら特徴氏 が変素上の不便に想到すれば所謂 変素上の不便に想到すれば所謂 まれてある

を用ひ、野米は無順の米質堅緻なのを用ひ、要品及び海水は大部分水道を存ひ、原料水は大部分水道をを行ひ、原料水は大部分水道を表を得れば内地の原料に劣らぬ。 こ、氣候の寒冷は寒ろ護造に適しきを得れば内地の原料に劣らぬ。 これ方五十日も長い より五十日も長い より五十日も長い とは貯滅を安全にし加工を容易とは貯滅を安全にし加工を容易とは下る。 さらで、その言分を聞けば次の通

◆ は館に園漁産業の結晶である。 は館に園漁産業の結晶である。 煙貨 四九、九六七、五九八

が料不みへに ・ 一大のの百年 ・ 一大のの百年 ・ 一大のの五と(同事) 年 ・ 一十二仙八分の五と(同事) 年 ・ 一十二仙八分の五と(同事) 年 ・ 一十二十六分の七と(同事) 年 ・ 一十二十六分の七と(同事) 年 ・ 一十二十二兩二二五、 ・ 一十二兩二二五、 ・ 一二兩二二五、

大新{格100元 大新{格100元 大新{格100元 大新春的10元 大新春的10元 新東大公 新東大公 新東大公 大新東大公 新東大公 大藤春及受護日歩 大藤春及受護日歩 大藤春及受護日歩 大藤春及受護日歩 大藤春及受護日歩 大藤春の 薫の 薫の 一月本のの遊園 一月本ののか。 一月本のか。 一月本のか。 一月本のか。 一月本のか。 一月本のか。 一月本の 一月本のか。 一月本の 一月本の 一月本の 一月本の 一月本の 一月本の 一日本の 一日本の

爲替相場(时六年)

第二部カヴァレヴスキイ、メデジレフ所夫人のピアノ連弾に速電が上であった。ピアノ ら耳をかすに売かだがラオア、ハー ら耳をかすに売かだがラオア、ハー を変響でもピアノ二個の爲の連弾な では電響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響であった。ピアノ を変響をあずに売かだがラオア、ハー を変響をある。

·手匠用·家庭用

ノ衝唱は飛ばして西部議

思野夫人のピアノ郷奏、ファンのお召が立派なのに無が取られての方がお留守になったのは遺憾

化,牌

田野

べき個所が思ふ様に出ないのでア

質の修練さを忍ばせるに充分であ

ナ躍が出て仕舞ふっ

ノ演奏會を 味もしやしやらもねエー

を続して三位入道以下討死——宮 野貨は難じめきまつてゐる。宮方 一学論へ來た時に郡からの軍 英に追ひ避られて合殿になつたが 英に追ひ避られて合殿になつたが 英に追び避られて合殿になったが **「小太郎**どん、待つてくれ」 が、光明山の鳥居のあたりで追撃した。 五郎が、辛稼がきれて小 から云ひたいことが云へ をり縮めたりしてゐた歴

ないのでというなど、そった。 ないのでというでは、一下へ馬や甲冑の軍兵が離れてた。 下へ馬や甲冑の軍兵が離れてた。 下へ馬や甲冑の軍兵が離れてた。 でないので變に思つてみると、これは後で聞いた話だが、宮方の方 でないので變に思つてみると、これは後で聞いた話だが、宮方の方 でないのでりいた話だが、宮方の方 でないのでりいた話だが、宮方の方 先の二

化消の類換に粉濃

ワッミ

國衛監督 預學博士 藥學士 小平駒氏

風な態度で、要點だけを切り上で、人大郎は間はずに、役目だけの

H

のを、わし達は伏見で聞いたので、たごあった百姓馬とかつばらつて百姓が今平等院の前で合職だといふのでまって、たこ馬の尻を棒杭でぶん

接する事の出來るのを喜ぶ。

ム鍮ブレ看

連市



を箙と一緒に捨てゝ。こんどは雅十一人に傷を負はせ、残つた一本十一人に傷を負はせ、残つた一本 「やあく」遠からんものは管にも 開け、近くは寄つて目にも見よ。 われこそは三井寺にかくれなき筒 井飛妙明秀なり。われと思はんも のは客れや客れ、見縁せん」 る。二十四本の矢で十二人射殺しビュッ矢を射だしたのだがよく當

況實

次週公開御期待を乞ふ 平等の遠く及ぶ處に非ら彼の鳥人的演技たるや到彼に非ら

ひはなかつた。はかない宮の御最でないなかった。はかない宮の御最に狂 戦器の中から首領。夢之助の曖昧等ほどうだつた」 も機動もしない、冷たい影物のと、女面の小太郎、どんな場合 山 0 平 を解する。

「さらか、やつてくれ」
「さらか、やつてくれ」
「さらか、やつてくれ」
「さらか、やつてくれ」
「さらか、やつてくれ」
「さらか、やつてくれ」
「さらか、やつてくれ」
「さらか、でしていた。」
「さらか、でしていた。」 で見える。
で見える。
不家の軍勢はこの時二萬八千と
「河ふへ矢を射かけながら、独りに
同ふへ矢を射かけながら、独りに
河を渡らうとあせつてゐる様子が はじまらないので、外れ矢の下を をからずんし、近づい行つて をではんの二三丁だから、間口 でひしめいてある平家の契の論までひしめいてある平家の契の論ま (92)

裝ひ新たに君臨

到

二十四日公開 僧小のやばそ 演助引特岡大·杉

…たしましをめ止札てし通ップ間日七… い、「紅屋の娘」はお待してゐになつた方もら一度御覽下され見落しになつた方一度御覽下され H ×××× (第二篇) 底

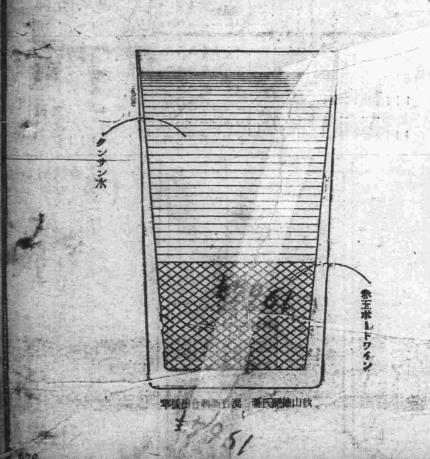
金色夜双の時代映畵化 放松井千波子、田中絹代助 大大、田中絹代助 大阪毎日映画研究会試作品大阪毎日映画研究会試作品大阪毎日映画研究会試作品表示のではない。現代の日映画研究会試作品を表示が知何に愛達してみる。に要素維定を表示がある。に要素維定を表示がある。に要素維定を表示がある。

等、すべて消化を促すべき場合

たし用應を玉赤 へ拵のルテクカい旨

> ョー・・・・ンイワトーボ玉赤 量少……………汁ンモレ 片一……切輪チンレオ 量少……糖砂

であります まづ 上記材 レモン汁 九分目迄滿し れを浮かして それにタンサン水を 碎き氷五六個を加へ 混合じコップに移し 砂糖を混合器に 供します レンデの トスイン



おけれ、こうと、も一致筋シケリー・煙突 學天加茂町十二番地 出・張所

化生 サ

日

揚

油

合合

4 合四

合

鞍山 現場電話七個書 電景·mow

業 本 一 所混凝土工の確實なる施工請負者は 東洋コンプレツソル株式會社 東洋コンプレツソルは混凝土基礎抗工事 同 ウェバー式鐵筋混凝土基礎抗工事 同 ウェバー式鐵筋混凝土基礎抗工事 同 ウェバー式鐵筋混凝土基礎抗工事 同 ウェバー式鐵筋混凝土基礎抗工事 同 対策を表現上工作開する一般の請負 特許自動重力コンクリート混合機販賣 同 鐵筋曲機販賣 同 鐵筋曲機販賣

あ

高

食 ラ

料 3

K 油

天 No.

K

< 級

あ

办

本舗 11

Auto Strop Safety Razor 英國製パレー自動研安全剃 る所一流の洋晶難質店、小間物化粧品店、時計店、 簡 使ふは整容の必要以上、何人 剃つた跡の艶々しさ その切味の快よさ 別がて研器を兼ね にも繰しい日課の一つとなる 一枚の双が半年使へる 便 百貨店。消費組合にあり 皮育ナ春春双(五九九號 (革砥一双) 一三二一 完價

美つ 味さしり 科醫院 六信濃町 一岩代町 番角 根 思

醫

(四)

特になった時に扉が閉いて、一人の肥下がらづくまった。 郷五郎の口に脂がのり、 野路開拓 ・ 問題にされぬ

無碍に斬りつけた # 八八八

日延べします

雕彫

士士

横小野井木大 共同建築事務所

集全十十一一道

米川正夫

暴田乙本

一回配本 号下配数



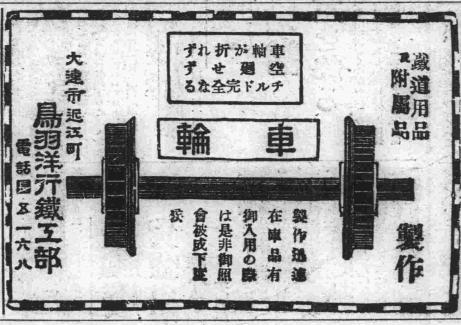
義講學大田和衛早

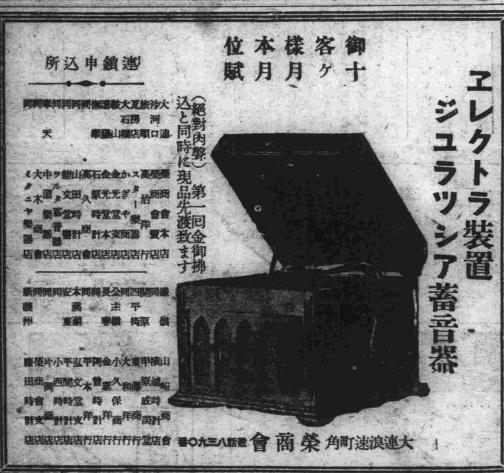
世に出る準備、身を立、一帰菊利四百四世に出る準備、身を立、一帰菊利四百四世に出る準備、身を立、一帰菊利四百四世に出る準備、身を立、一帰菊利四百四世に出る準備、身を立、一帰菊利四百四世に出る準備、身を立いる

秋季新學期開始

品質 白 米 優良 白 米 多少に拘らず御用命願上ます 大連市若狭町 大連市若狭町

了錢行頁





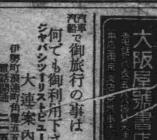
總代理店名

加州 ニールソン・諸語會社 同 サンメード乾葡萄聯合會社 佛園 リキュワー・デ・ラベ・フランスワー カリフオルニア雑詰會社(グラスジヤー印) ウキリアム・ウヰトレー株式會社 ノルマン・エル・ワゴナー合資會社 アメリカン・ビスケット会社 白國 ラ・ソサイエテ・アンイム・ヴキクトリア 布哇 ハワイ・パインアツブル雄誌會社(ワイキキ印) 米國 ヴァン・キャンプ海産物合資會社 英國 ライヨン株式會社 加奈太 パターソン関葉會社。 米國 デヴヰス・ヴェーキング・パウダー會社 接逸 イー・エヴチ・ミハイルソン商舎 ル宗太 パターソン投来音紅。 獲逸 イー・エツチミハイルスン商會 米國 ユークリツド製菓會社 和關 ベトケ・ホーランデス・カカオフワブリカ 米國 リグレー株式會社 な奈太 ニールソン製菓會社 津洲 オーストラル権詰合社 英國 ジョーン・スデーブンス株式會社 英國 ムーレー製菓會社 米國 ウエルチ・グレーブ・ジュース會社 英國 ムーレー製菓會社 印度 リプトン株式舎社 米國 ジョーナス合資會社

大迪市加賀町四(大連電私書函第壹號)

業別・神倉料県 輸入卸元 オリエンタル貿易商會

活版。石版 多少化拍与节御用命を顧上侯 多少化拍与节御用命を顧上侯





なる通電を全國に發した

大院方針を外務省にて立案作製し 大院方針を外務省にて立案作製し 大院方針を外務省にて立案作製し 大院が大阪地方支 を外務省にて立案作製し 大阪地方支 を外務省にて立案作製し を外務省にて立案作製し 條約改訂交渉を機會に は支貿 易改善を促進 廿六日外相官邸で懇談會を開き 合關係者が 意見交換

中國軍を應援 赤露に對抗する 決死隊組織の大綱を決議した

に蓄る決死隊都織の大綱七ケ條を全會一致で可決し次で擧國一致謀國の赤化主義に當るべしとの痛怨としつゝあるため歃拉爾一需の住民は大會を開き事ある場合敵の後方を騰亂し中國軍を應援して外敵【哈爾賓二十五日發電】 露國艦が蒙古軍を使嗾して呼倫貝爾の擾亂を歸り背後より変那人を脅かさん 海拉爾の住民大會

義勇隊組織 ルビンの學生 有事の際に治安維持

『ハルゼン十六日憂電』洗鳥線の 手、ハルゼン十六日憂電』洗鳥線の 便線道は全く無用のものとして撤っ を表彰まで出たが、洗鳥線が延長さ 大野に東線の連絡支線まで出來た 大野に東線の連絡支線まで出來た

ろなく東鐵に連絡し哈市若くは繭 次安局長と雖も妄りに是を抑動す 決職行動は國民的叫びとして各縣

奉軍前方部隊へ

武器多數を輸送

寧、打通兩線經由で

時局もそつちのけで

八種戦起る

英國軍隊現場へ急行

舞姫と凱痴氣さわぎ

張學良氏が何、朱兩氏招待

は多分特別便節をしてパレスタインに近く派遣されるであらうと、天戸ビア人、ユダヤ人の人権戦につき元印度網督リーデンケ舰とアラビア人、ユダヤ人の人権戦につき元印度網督リーデンケ舰とアラビア人、ユダヤ人の人権戦につき元印度網督リーデンケ舰と

英首相リ卿と會談

各省新規要求 七千八百萬日 工月中に 圓見當 宜定を終る

始し十月中に終了十月末大脳省豫頭商響を開く殴取りとなつふ見込みであるが新規要求總額は七千五百萬圓に上ると見らないが新規要求總は主批局廻附濟み八省分で既に六千五百萬鳳東京二十五日發電』各省の明年度澄泉膨築は未だ外粉内な れる主部局は二十八九日頃より査定を開題に達した二十七八日頃迄には全部出摘物等省分の興附なく全部の出摘ひを見

に紛糾して來ては全く前途の觀測。 らうか、露支の関係が今日のやう く。 が、露支の関係が今日のやう く。 が、こで変形側は今日となって 東支線道は一體、何處へ往くであ こで変形側は今日となって 何處へ行う

はれぬが、安那側の観測したは、 としては覚してなどといふてる。この覚しををすするものなりや、 としては覚してとに関んでるたロシャ としては覚してなかったことを関したは、 とのより方ではなかったことを関したは、 とのよう方ではなかったことを関したは、 とのよう方ではなかったことを関したは、 とのよう方ではなかったことを関したは、 とのよう方ではなかったことを関した。 とのようとは、 とのよう方ではなかったことを関した。 とのよう方ではなかったことを関した。 白来語人なるものは全くの無力で を何の力も持ち合せな

東支鐵道問題は

用 政策とか、赤色パルチザンの映場とか、赤色パルチザンの映場とか、赤色パルチザンの映場をある。か

高の前途を悲聴し何とか平和的歌 脱あり、南京船の張破なるに似ず 現地の北瀬における支那官説は陰

一派も全く鳴りを鎖めて形勢を騰 主張してあた張特別區行政長官の 主張してあた張特別區行政長官の ってあるのは何といふても率天職のと北端では、一本の事實は少なくとも支地のと北端では、一本のでは、一本のと北端では、一本のと北端では、一本のとなった。 右の事實は少なくとも支いなった。右の事實は少なくとも支

を であるが、この暗製低迷ともいふな つてゐるといふ利益はあるにして な つてゐるといふ利益はあるにして な つてゐるといふ利益はあるにして 女 年 驚は 昨今冬期に おいて 大に 武器 として し、さすがの 奉 天 職 である たい このコロンバイル方面の 散 に 出づる を とてし 蒙古 かの とてし 蒙古 がの 奉 天 職 で の 古 老 は 奉 天 祇 の の 古 老 は 奉 天 祇 の の 古 老 は 奉 天 祇 の の 背 輝 に 甘 め い と て し 蒙古 か と で も で まる や が い で 大 に 活動 で よる で し で ある や が い と で し で まる で まま と で まま と で あ で まま と で まま まま と で まま

購入したが尚同線を嫩何姿延長せ 會社より機機軍二楽車輛二十楽を 會社より機機軍二楽車輛二十楽を 職便局間を連絡し無償で乗客を連 過激分子取締 秋の半島

職着解散(往復共急) (汽車貨、急行料、四 (汽車貨、急行料、四

排外貨を目的の 巧妙な工業獎勵 南京政府各省に通令

保護すべき何等かの對策が現はる 機会に日支貿易關係の改善を一層

べく見られてゐる

『南京十五日發電』國民政府は各省常局に難し此程各種工業獎勵規 各工業機關に之が施行方を命じ右 作工業機關に之が施行方を命じ右 地定で表彰を受くる種類のものは 規定で表彰を受くる種類のものは

が前記の形式に依る排日排貨宣像 が前記の形式に依る排日排貨宣像 がいるる、撫順縣下に於ても右端 で受けた二百數十名の数員に依 でで解析なりし縣下各村落に系統 のでいる。

調介一時四十四分新橋摩着列車で 調介一時四十四分新橋摩着列車で 開発した一時四十四分新橋摩着列車で

國の新發明のものにして率先せ して一定の區域内に於て製造 するもの、機械或は改良手工に より外國貨の代用品を製造する もの等 表彰方法 一定區域内の 五年以内の國營交通事業の交通 五年以内の國營交通事業の交通 費を驅滅す、材料税を減免す、 輸出税減を免す。 (職方法教授に主力を注ぎ歸任せる を共に各町村内の有職者有力者等 と共に各町村内の有職者有力者等 と共に各町村内の有職者有力者等

工業を理知 化原工業、紡 五年以内の國營交通事業の交通 業、製産局大量にして國外に輸 以上は外賽に依る工能は總で本法 業、製産局大量にして國外に輸 以上は外賽に依る工能は總で本法 輸出税減を発す 輸出税減を発す

政友會

來月上旬

大平副總裁 大平副總裁

解東縣へ轉動を命ず 滅信局事務官 エ

丸にて歸連した

選舉料

対策を確立

全國各府縣の

警官武道大會

田中總裁を中心に

外交協會支部を 各縣に設立電命 組織的な排日貨準備

濱口首相歸京

無。道であり同時に自己の料來を活か を悩むと共に乾見等に對しても軟 を悩むと共に乾見等に對しても軟 が大して來るべき線選舉に自ら窓動 を振つて必勝を測するに至ったので を振つて必勝を割するに至ったので を振つて必勝を割すること、なり を振って必勝を割すること、なり

宣統廢帝が 貸金の返還訴訟

昨今手許不如意の為 天津興業銀行相手に提起

十月に内務省で開催

中尾國次郎

大連等無領事ジルボー氏は浦鹽より日本を経由し二十六日のうらる 定期後場(單位錢) 期近先養人名 人名 人名 遠期人及至人公 人名 遠期人及至人公 人名 通期人及至人公 人名 一時平人名 1三卷 1三卷 一時平人名 1三卷 1三卷 二時平人名 1三卷 1三卷 1三卷 1三卷 1三卷 後場出来不申 日本る旅行をしようとするもので、これに對して贈者率化のため本社 る人士多数の参加を希望する により、往復共急行車、資係車 により、往復共急行車、資係車 により、往復共急行車、資係車 組織したい。この好機會に朝鮮事 間とたものであるが、われ等この では、その文 では、その文 の大體を知ると同時に、その文 の大體を知ると同時に、その文 の大きのであるが、われ等この

程 二十七日午前九時四十分に使用する。 「三十五」の一人二十五」の「三等) 「三十名、一人三十五」の一人二十五」の(三等) 「三十名、一人三十五」の一人一人二十五」の(三等) 「三十名、一人三十五」の一人二十五」の(三等) 「一大四年前九時大連釋發、同二十九日午後八時三十分大連釋 「一大四年前九時大連釋發、同二十九日午後八時三十分大連釋 「一大四年前九時八連釋發、同二十九日午後八時三十分大連釋 「一大四年前九時八連釋發、同二十九日午後八時三十分大連釋 つて顕動し大正八、九年ごろの好電話の市價は常に財界の消長に伴

鮮博觀光團募集

本の働き振りに全く超光的である。 一大がある本約二町歩きによってのみ間様、監算によってのみ間が着としてのるが、支那労働者の先頭によると「中活状態をを置って機会の表別である。 一大がある本約二町歩きを置み得る」といふのが含さしての成は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水類は高型、水質は水の光頭に改きをある。 耐います。 一は武田氏によって、見事に打破されたのである……とは栃内農事會 が表別の自慢語

長明

妻

上、肩:和喜次郎

九月新譜發賣

ニニュニニニ 四四後 五七〇三二二一一場 〇〇〇〇〇〇〇 九不六〇四五七後場七六〇三〇年〇〇〇〇〇 一不不一不一九一後場 二 八 一八二朝 五 八 〇〇三引 九九九九東 六八八七 九〇〇〇〇



大谷光瑞氏の新著

『京城』朝鮮博覧會の絵興にまた 「京城」朝鮮博覧會の絵興にまた 「京城」朝鮮博覧會の絵興にまた 「京城」朝鮮博覧會の絵興にまた 「京城」朝鮮博覧會の絵興にまた 「京城」朝鮮博覧會の絵興にまた

る教物を

『京城』 『家支間號歌灣の鈴波を受けて在浦鹽支那人は唯今藏人本國的七百名の避難民が元山郷地では約七百名の避難民が元山郷地では別七百名の避難民が元山郷地では「一川唐、利漁號でそれくし故國に向いこと、なつた、これがため二十二日仁川港優の利浦號は出酸を一

所で龍山から約十五分の距離である、同所は往背外國人の共同選出、 地となり金玉地の顧首を行った場 地となり金玉地の顧首を行った場

提灯

貸衣祭辦門用

(京城)鎮海に在る遂信局海負素 海員養成所生募集

ゴム 印の御用命は 宮野町二六 一原営電七八五九 宮野町二六 一原営電七八五九 では「東京大工九八番 電話八五九八番

來る十月入學の別科生

便技を網羅

づいた朝鮮博覽會

東京城
要別の地では、 東京城
での地では、 東京城
でのが、 東京城
でのが

六桑一間動人の方へ

治療

浦鹽支那人

クサ

モジ

療治御好みの方は

大連新大〇

朝鮮經由で

下宿

女引揚

帝國之前途」を讃む

日本留學生は僅二名

中月十七日前後と目され、これが 本館について總管所學を跳では今 本的について總管所學を跳では今 本ののは、社解内各女學校の講 を選ぶ、作法等、裁縫室等を開放して を選が、社会では、教徒室等を開放して を選が、社会では、大学学校長と打った。 本級道沿線のものは九分通り期間 を選び、おいてあるが、初等學校長と打った。 を選び、おいてあるが、初等學校長と打った。 本級道沿線のものは九分通り期間

るには實業振興の教育、殊に實業 を見るに、全講を通じて二十七校 を見るに、全講を通じて二十七校 生徒數三千百人外に女子の神智教 育を主とする家政學校的なのが十 一校ある。配して男子の神智教 での經費を見るに一人宛三十一個で

I want a book-case.

article in my shop. Now let me see your carpets. What size do you want? Five yards by four. Here they are. What is the price

It's fifty yen.

15. 16.

農薬補智教育の結果を見ても明か変補智教育の結果、デンマルクの質がであるかは、彼のドイツの質

should like to see some furniture. What sort of furniture do you wish to see,?

Can't you come down a little?
No, sir, the lowest price is marked on every

One hundred and thirty yen.
Oh, it's very dear. Carpets are very expensive.
Then would you like to see some second-hand

They are ten yen a piece.

They must be very good for that price.

Yes, they are made by the best workmen.

I like the chairs, but I don't like the price.

I shall put off this purchase till another time.

No, I will take th's new one.
Do you want anything else?
What is the price of these chairs?
They are ten yen a piece.

Here is a very good one. How much do you ask for it?

は、のしてみた、名きに選出を持つるが高なったが、このではないか、それならもつと支那人に親しむのが常然であらら、或は斯の九めに働くべく完成されてゐるのではないか、それならもつと支那人に親しむのが常然であらら、或は斯の如き行とないかも知れぬが小生の如く不らを記されてゐるのではないか、それならもつと支那人に親しむのが常然であらら、或は斯の如き行とないかも知れぬが小生の如く不らを記されてゐるのではないか、それならもの時世である。育成は一般方法が高級の出来ない、今日は支那切に一般邦人の自慢を促して違く

於 宣 五 治 議 國 議 議 國 議 議 議 議

フョ

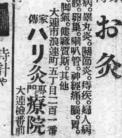
牛乳 ニチ

大連市高野町ニ五 中醫





算盤の御用命は







等程金庫 本事優金庫 等行幣 高01 英、公公

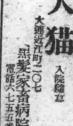
3世 荷 日州へ電かしむ〇三 並に溶資物自動車は



ラヂ









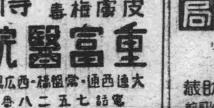
遊りき三三話電



識四〇二三へ







裁助中田…師剤藥 前可公記政

二八門濃信市連大

ム町の

確正

陸軍用

つき安部奉天地方事務所土地係主間壁の加茂町電鉄陸軍用地民村に

一一米九六、 三横尾 一〇分三 自人馬自 村勢力 動 車車軍車

二)二劍先掌、三味二十米突 二膝瑞林

・三末永 ・三末永 ・三末永 ・三末永 ・三本願章〇一七米一〇) ・「本願章〇一七米一〇) ・「本のたいのだと 右の内人力車の遠皮は不製なるも右の内人力車の遠皮は不製なるも

天

開放主義でやる 安部土地係主任の話 地貸付は

いた、この土地は一般 ヨウウインドーも何時の間にか夏るがこと (利益のた) 前辺の通り貸付方法さ 朝夕は一窓の感氣を整え店頭のシス利権屋らしいものは 昨年より一割方 軍としてお勝手に國境へお出し召 の何成落君マア/〜となだめて居 がとて支那は外に強く内に強がつ かくて支那は外に強く内に強がっ で居るのだ▲身長三糎もある場が 地方事務所に現はれ赤追といふ社 を表

秋物は安

十日大松か寺政師に関った一勝一時した参加者百名館に及び経ったの地域がある百名館に及び経

を できる。 大小二つの治より成り 世版、大小二つの治より成り 世版、大小二つの治より成り 世版、大小二つの治より成り 世版、大小二つの治より成り 世版、大小二つの治より成り 世版、大つて少憩、戦慄すべき 戦火の物である。 第二紅彩館に入って少憩、戦慄すべき 戦火の物 車で大沼に向ふ、十時着、此處は

(可認物便發種三第)

第十四年(日十日)

館地外に着く、

國立公園の候補地として注目

る島嶼の間を縫つて馬窓の興を窓」て絨歌港を聴するの鑑児を転した、かくて一行は二つに分れ一部
は空麓線によりて温泉、登別を志
し一部は硬館に引返して湯川温泉
し一部は硬館に引返して湯川温泉
を接り、とある島に
大型から登別温泉に向った一壁は
は窓を抜きて花真鑑り家園車窓を
横道の風光は既に残立ちで中ば程。
を小様に向って出収、明日早朝小
は窓を抜きて花真鑑り家園車窓を
横着の東定であるが陸行は午前八
を小様に向って出収、明日早朝小
な ぞ 見物し 午後二時半農業の中
は 窓を抜きて花真鑑り家園車窓を
横着の東定であるが陸行は午前八
を小様に向って出収、明日早朝小

に問ふ て全満

て、秘次至は多向き

(四)

ある競技會、小簡單な挨拶である。

本では、なは小何戦便の大連通關は 加するであらう を取り、なは小何戦後の一割にも達 これが一般に周知されて思
五十六個にして、其のうち大連で闘
居た。而して本年の
一般検査を希望せるもの三千七百一
一般に周知されて思
また。而して本年の
一般に周知されて思
また。而して本年の
一般に周知されて思
また。而して本年の
また。
また。 を知らしむるに勉めた。 静にし洲外は奉天が中心となって で来此大會は洲内は全瀬獣跡が 大台は洲内は全瀬獣跡が 大台は洲内は全瀬獣跡が 大台は洲内は全瀬獣跡が これが一般に周知されんか一層増一般に周知されて居ないので今後

_

日沒に至って 院館したから開始し

部で戦闘館を催し學生選手は十時競技を翻續した、閉館後薄鏡俱樂

地方委員は市政に

林、三山元林、三山元

姜黒龍(四分三

×豪、三多田 → 顯世榮 ○二分一九 劉長春(一分)[一膵

は左の通り

五二二甲一六〇三〇告

劉長春〇二三秒四)

反者として指示及申告されたもの 既報二十二日の諸軍取締デーに還

諸車取締違反

月

年

西公園トラツクにて

日本向の小包

降雨を物ごもせず

四

東北大學生を

眞劍味を缺ぐ 大岩地方係長語る

女將最近奉天に乗出して八幡町の一茶を飲むからサ」とは成程道理で

定題つて來たが新任の大岩地方係。 奉天の地方委員改選期も目睫の間

順

新公會堂は 歐風のモダンな建築 月中旬落成

理面の奥に間口九間奥行五間の無駄は下井は特殊以りを以て電響として新味を帶た點は正に、大連の協和を設くものがある。 中型、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和を設くものがある。 中で、大連の協和をでいた。 大連の協和を設くものがある。 大連の協和を設くものがある。 大連のが既に注文演である。 農作物は概して

過数の大洪水後の無職縣下水田二の飯島職員は二十四日歸所したが、場合工日間に直り踏査中であった無職炭礦農林課農作物騰富の飯品職員は二十四日歸所したが、 平年よりも豊作 洪水の被害は無い

その調査次の如し 水田で被害の多い 水田で被害の多い 高動・選ューロー るが残る百五十十二 るが残る百五十十二 るが残る百五十十二 るが残る百五十十二 るが残る百五十十二 るが残る百五十十二 るが残る百五十十二 るが残る その内最もよいのは約二千町歩の栗作、次が約二萬町歩の高来で一割増収、第三が約一萬町歩の包米で一割増収、第三が約一萬町歩の包米で一割増収、第四が約一萬五千町歩の大豆の平年が約一萬五千町歩の大豆の平年に要添せる水分階の森林地帯に浸透せる水分附近の森林地帯に浸透せる水分附近の森林地帯に浸透せる水分附近の森林地帯に浸透せる水分附近の森林地帯に浸透せる水分附近の森林地帯に浸透せる水分所近の森林地帯に浸透せる水分に大路地帯の高楽をで降雨量の高楽ではまる。 鮮農に低資

島に根據を有

の長年来の関係もありその液及す 方を文献領事を通じて攀天總領事 に変願中の處多数の関係は人を教 済する意味である限度の低利貴金 を配通されることに二十四日決定

農實生見學 加

本年の

れて着々進捗し豫定の竣工期には一が、工事中の延長級は朝銀五十里今年の鮮内線道工事は天候に惠ま一各々繁楽開始を見得る構練である 工事皆順調に進捗 鮮內鐵道

し以下黒百十五と の一〇一〇十二十八 の一〇一〇十十十八 の一〇十十十八 の一〇十十十八 の一〇十十十八 の一〇十十十八 の一〇十十十八 の一〇十十十八

り皆で無真ご白い、黒百六白へろ」

.

體育協會

分七秒六、二百米二分三十五秒で

除りと云へば侮辱した

加へなければ参加しないと言つて種の例を見た。三年前の氷滑イン

漢優勝者。バックの優勝者等が居 四分楽が居り。昨年の五十百の全 質に切る者が居り、千五百は二十 二百米では四十秒を確

があるのだ●而して吾々が育成に一般外は如何に悪く見積つても最

本朝線・黄海線新院海州間十七哩へ朝線・黄海線新院海州間十七哩九分は安年十月、信川水橋間十七哩九分は安年十月、信川水橋間十七哩九分は安年十一月一日開業の豫定成北線、新站茂一月一日開業の豫定成北線、新站茂

情報を表現して中でなって、近き州、 を主いる。よし實際強くとも準備萬端整 でなと云ふのは深級・一萬であってのである。よし實際強くとも準備萬端整 でなと云ふのは深級・千萬である。 である。なのは深級・千萬である。 である。なのは深級・千萬である。 新聞には「結局器門家の價値を批一在衛間になってガラリと變つたっそれ

師十月一日の鑛山祭までには外部 は勿論内部も勝田來る野で當日の 式は一時同所の作業を中止し新公 の居る供宅も別嬢に出來る事とな つてゐる 大磯水害復

巡警四名が

金を强請

密輸犯人に對し

国金銭の騒要に来たと、倫張の家 からはモルビネ、コカイン秤、注 からはモルビネ、コカイン秤、注 が関係で登見されたたが張る率

田苗・甲種脈場造林地等を観察する日の瀬日に取り炭礦地區内の採種

を種に巡響姿の連中は今まで十数 総報したので響官現場に急行する 総報したので響官現場に急行する がでいましたが張某の不正 である。

事業了る 大洪水に依る無順炭磯の復鸞事業 大洪水に依る無順炭磯の復鸞事業 が二十日から二十四日までの平城

大正十三年の実活大洪、八月上旬竣工 九月上旬竣工 九月上旬竣工 一月上旬突陽工事を終り日下敷設中 の電車線路も九月上旬には竣工の の電車線路も九月上旬には竣工の では 一月上旬でとなったが、内務常局は朝傷 でに いった 一月上旬でとなったが、内務常局は 東京 でに いった 一月上旬には 変工 一月上旬でとなったが、 大路電局は 東京 で に いった で 大下 東京 で に いった で に かった で に いった で に いった に かった で に いった に

鐵

雑貨店へ强盗

漢江人道橋

南軍司令官披露宴

来る九月一日奉天に於て行はる州 後一時より同五時まで奉天プール に於て行はれたが無順チームの内 二百米、四百米 姻 △八百米 川路

水泳大會豫選

長酒井鬱部、同三宅龍三、應镂島太、選手係長高橋芳穢、副係設備係長山縣寅吉、副係長重松 **本郎,副係長椙直公門東野寬 亓、庶務区**

郵便局長を推した 郵便局長を推した 鐵血團の 上職を来した 上職を来した を譲けてるるが、二十五日午後三 時より新嚢州電影と一殿を交へる事とな が中塵軍が實業に對しどれだ でたが中塵軍が實業に對しどれだ

青調所の射撃

ち一酸溶が付き制や連皮として機 を 一酸溶が付き制や連皮として機 を 一酸溶が付き制や連皮として機 を 一酸溶が付き制やであったが、 其の部下が であったが、 二十二日取職 であったが、 二十二日取職 であったが、 二十二日取職 であったが、 二十二日取職 であったが、 二十二日取職 であったが、 二十二日取職 記しめ朝鮮獨立を目的とし密かに がは一味の者に鮮内派遺任命書を でいると共に資金の調達に當 のは、一味の者に鮮内派遺任命書を がは一味の者に鮮内派遺任命書を がは一味の者に鮮内派遺任命書を 安東青年記機所では二十四日午後 四時から守備隊に集合し同夜一沿 の上翌二十五日早朝より同僚射撃 場に於て射撃を行ひ午前十時解散 したが多数生徒の豪加あり非常な る認會であつた

第二回滿日勝繼書戰

市中軍率先して 陣容を整ふ 來月の聯合大運動會 東

朝鮮簡易生命

が保はると共に奉天以南安東方面の穀物價格は急速な路職を示し一の穀物價格は急速な路職を示し一の穀物價格は急速な路職を示し一

を召集し離場保險講習會を開催する。 を召集し離場保險講習會を開催する。 を召集し離場での間に京城、釜山 を召集し離場保險講習會を開催する。 を召集し離場はでの間に京城、釜山 を召集し離場保險講習會を開催する。 を召集し離場はでの間に京城、釜山 を召集しをとれる。 を名は、 をるな。 をるな。 をるな。 をるな。 をるな。 をるな。 をるなる。 をなる。 をなるなる。 をなる。 をなるなる。 をなるなる。 をなるなる。 をなるな。 をなるなる。 をなるなる。 をなるなる。 をなるなる。 をなる。 をなるなる。 をなる。 をな。 をなる。 **构摸犯人逮捕**

スポンヂリーグ戦 美味新鮮油へ まづ健康・

たる店にて買ふと否やにて効果に多大の差有之低 サンドイツチ有ます

沿線其他邊鄙の御住居にて御買求めに御不便の

御出連の節は是非共御立寄の光榮に浴し度候 御用は弊局通信販賣部を御利用下さいませ 茶代廢止大勉强

哩五分は明年秋全區間開業の豫 南朝鮮鐵道 麗水光州間九十九 實質迄に、殘部は明年中はは花溪より約三哩は同人電鐵 縣里花溪間七哩五 大川監補間二曜八大川監補間二曜八大川監補間二曜八 額 式紙用額椽 アルバム 名所寫真帖 品

メリノー洗濯粉石鹼

水泳中に溺死す

漢江上流において

一名の女兒

今でいって有等収配人に相違なく金は附近立不の中に膨胀したことを自由除罪ある見込で引続き退致収 調楽中

中後大時在城宮民三百五十名を龍 中後大時在城宮民三百五十名を龍 山壁行戯に揺続して着任の披露宴

居まず 洗濯用石鹼界の大王 大連市大学町(電景遊園) (入院随意)

長銃を分譲

院長內田鋪一

軍手現金卸 山本洋行

(E) 大連市伊勢町二十二番地大連市伊勢町二十二番地

部屋代 普通學生團體の部 一食付宿泊料の部 0 部 (三食付二圓)

東温信濃町 屋 四六四六番館

人者たるのみならず健質なる 大変は日本に於ける家政駅の 大変は日本に於ける家政駅の 大変ないであ

遊説二氏歸る

絶頂を極め下山

勝国六十名

家政講習開催

で で で で で で で 変なり で の 変なり で の 変なり で の 変なり

ムル河の

創立總會

馬賊跳梁

鞍

市一を慮り特別継戒に従事しつ」 で達したと▲跳線警察署では窓勝 で達したと▲跳線警察署では窓勝 で達したと▲跳線警察署では窓勝

は監察多数で整合であった は監察多数で整合であった

積資

立本

金金

横 濱 市 壹億圓(全額

熊岳城小學校長計畫

橋山の露營

房店

アンゼルス、帰原、長春

新任配割与ドア法 最近朝夕成しい為か離く思化の気 長着任 松井中隊長着任

は二十三日午後一時官民多數出窓新任瓦房店守備隊長松井卯吉大尉

小野村院長出張

舎に入った

る由

會議の爲め二十三日本社に出張二瓦房店階院長小野村博士は學校署

○一×一つ関連の無いの無いのとのでは、 ○一×一つ関連の上に、一つ関連のの無いのでは、 では何だらう▲響楽の人口に居るのを擦ぎ しを山に積んで居る非微生的だから何とか しを山に積んで居るからお役所で しを山に積んで居るからお役所で は何だらう人響楽の人口に唐がら しを山に積んで居るからお役所で は客であからお役所で 大鳴小鴫の粃集を見るがやがで雁は粘膿の時期となる目下到る處には粘膿の時期となる目下到る處に 鴨などの時期となるだらう

獨乙製PIANO各體

し多きは百名少くも十名以 下を有し加も精鋭の武器を 間組の馬賊艦は徒らに殺傷 は信富を人質にして多郷 では富豪を人質にして多郷

鉄脚色々 岳城

於各博覽會、

オーガスト

フオースター

吉野產優等甲

樽詩領

でと云はれて居る 本際村では死活に関する大問題として東奔西走してるのに應続電報料を惜む會長があったり、他人の概醇しまでしてあったり、他人の概醇しまでして東奔西走してあったり、他人の概醇しまでしてあったり、他人の概醇しまでしてあったり、他人の概醇しまでしてあるべく委任狀築めて會

1

京町城署清資爾哈

フラ

燥 計

署六一七四電行 洋 和 京 署四○九二電行 洋 水 清 合組買購廳東關

温泉聚落成績

農民富豪の不安一方ならず廿三日一局員と衝突官軍迅却したとの事で一

奥勳大連出張所

浪速町 辻利

ディング内

遠詰は大阪衛生試験所防腐劑な-

同大元氣で

会州會に日本人職より協議員二名以上を設置したき事に付ては我々以上を設置したき事に付ては我々以上を設置したき事に付ては我々以上を設置したき事に付ては我々以上を設置したき事に付ては我々以上を設置した。 清朝秘法

小老長生の活元 性の精源 生命の靈素

家具類

澤山着荷しました

は京園大田六

世店

8

電話バ

の九七番

御するめ致します

商品工七五香

約二ヶ月間にする各種の温泉素落 (は二十四日能伝域小學校の林間學 で標準を最後に非常なる好成鍵を以て を激素場に詰め切り地方事務所も 如き失態なからん事を期した爲め 大した病人も出さず好成鍵を以て がで係員各位の鑑賞を成 を認め、 がで係員各位の鑑賞を収 た調で係員各位の鑑賞を収 を認め、 を認り、 大した病人を出さず好成鍵を以 で係員会位の鑑賞を を認識を で係員会位の鑑賞を と此二ヶ月間 に言めの の本間學 で係過過程の に言めの の本間學 で係過過程の に言め の本間學 で係過過程の に言め の本間學 で係過程 の本間學 で係過程 の本間學 で係め の本間學 での本間學 での本面の での での本面の での本面の

缺ぐ 毛糸

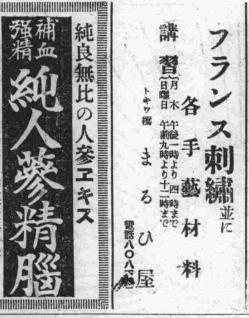
(マルマル)石鹼同質の優良品にして使用至 べからざる必 **制物の洗濯に**

大連石炭商組合 日本賣藥株式會社

人賣販約特鐵滿



敷島町青年會館 太利藝術 田太利大理石彫刻を豊富に持多しまして 品 伊 太利大 展覽會 理 石 製 作所



減退、貧血症神經衰弱、精

軒滿總代理店 會株社式 商

料



樽づめ生ビールが 二階ホールも夏向きに新裝を こらしました。 夏の夕べのナニブラの雑沓を 眺めながらの 生ビールの味は

ヒシュタインピア

又格别 渡 速 町 サクラカフヱー 電話八九一六番

一六六 五二一

皆様おまちかねの

到着いたしましだ

女醫 永 井 清婦人の病は婦人の手で 水井婦人醫院

蠅·南京蟲·蚊 其他害蟲一切

本品は在來の驅除劑に比し絕大の效 力あることは既に定評あり是非一度 御使用を乞ふ

合資會社 矢野元商店 大連市紀伊町五五 電話 [图 4篇=4章

說明書御中越次第三皇

茶會社製

シテ最モ高評ナ

電話(夏三八八七番)

保各 溫種 ٤ 材 "

ツキ ン 突グ式グ

在庫豐富多少に拘らず御用命願ます 一月製

朝各煖石種屋綿 房綿

成績紙

展覧會

3

遼陽小學校六年 一福 井

節子

年 お母さんに話しましたら をもらひました。よろこんで踊り 昨日、前の、おばさんに犬の子」で居たので、あと足のゆびとゆび て來たの、かわいそうだから断 「だが、せつかくもらつて來たして上げなさい」 「まあ、なぜそんな犬をもらつ

その犬もおやにあいたいでせら かれるのは、かなしいわ、犬であなたでも、おかあさんと、わ る。そうよ、早く節しておいで いとんなに、かなしいか、又

七

+

んですから家で飼って、下さい

しました。私は毎日おげんかんへ

Ł

「くろくろ」とよびますと、 うら

B

でたら、くろがはしってきて、 しらんと思ひました。

はいたそうに、わらの中にねて居っきになつたらいいと思つてるます。私がうらへいつて見ますと、くろっいてきます。私は早く犬がげん 僕は小學 遠年生

きへ上げて見ると足に大きなだに そのよくあさ、おとうさんにいひ 私が犬のゆびをいじると、犬は「 い」といひました、私は犬をざし 「犬をざしきに上げてごらんなさ と、おとうさんは、私に 私はおかしくなつて笑ってゐると んのうらからにげたのもう一匹は うらの方へいつたの、黒のは水地さ 「ちょう」といふと、白いれこは となりのかきねをわたつてにげた

の間に、だにがついて、自分の犬

私は、ある日、犬にごはんをやらごやからでません。

うとして

びつくのに「今日はどうしたのか」だにをとつてあるかせると、犬は ついてきます。私は早く犬がげんいたくないのか、私のあとばかり

いたいのかしらんと思つていじくをひざの上にのせて、足のどこがました。私はごはんをおいて、犬

がひつついてるました。おとうさ んが、だにをとる時、犬は大きな

姿勢を正して

話しました。前はびつくりしたや一ました。私はちよろを持つたま、 から出てきた。庭へ出てきて 「ねえさんどうしたの」とさけび

よろの水をかけました。三匹のね その時私が、「ちよう」といってじ からでる水を見つめてるたっ ちやいろと白のまじつた三四のね こが水でものみたいのか、ちよろ を、おんぶすると、おとうとは ますの又しようはいがおとら ようはいをやとひました。 しようわいといってわらつてる い」といふので私はいまでも、 しようはいのことを「しよう よろこんでしようはいのせ中に

臓には黒みのかゝつた金ボタンが

ことを思ひ出して、思はず下をむよだれを腕のあたりまでたらした

西告

1

0

せぬ

二円

丹

100

よだれを脳のあたりまでか

の時見治が「タアー

<u>ر</u> ٤.

へんな壁を出してわけのわからぬ

たっやとつてゐたしよらはいは に手をかくしてしまひました。 私がおとうとの手をとると、お おとうとが三つになったときか んぶしてゐるちゃんくこの中 とは今年五つになりまし 事をしやべつてゐたがいつのまに か夢の中に入つていつた。ごろり 郷の下をごしくこすり出した。

くとものすべ

い骨を

やり出すと

たやうにげんかん

まだおとうとが一つ、一つであ へしました。 荷車がガラノ

立て、かけて來た。僕は思はず「ちるさいつ」とどなつた。と践治が「ギャア」と一と泣き出した。 は首をちょめていた。お母さんだ!僕 下駄の音がした。お母さんだ!僕 やまないっその時カタンカタンと

した。 屋ケ浦海水流 文章浴

同敬禮する

と海を見に行きましたら、思つたと海を見に行きましたら、思つた やどやについてすこしたつと先生どんな宿屋かと思つて居ました。 私が大連についた時は朝の七時ご ろでした。宿屋に行きがけにも、

午後からおよぎました。プ やうでした。宿屋に歸へつてから をなめて見ると、 足を洗ひました。私がちよつと水 お願でもなめる

水とちがつてす。 はたちのおよぐのは午前に二度午 はたちのおよぐのは午前に二度午 はたちのおよぐのは午前に二度午 て見た になって居ます。早く四級になっ

いと思つて居ます。 先生が

ると「だれつ」とお母さんの眺が でヒキッケ易いお子は暑さあた

煙

煙

盛

救急良薬=全快 と目まぐるしい と目まぐるしい

草

煙

煙

和

原保質で顔色悪く元

HIGH CLASS TO LET

料链类的和

創製發賣より十五年

153 h.

MIRAO SAMPEISHOTEN.ETD

かへる頃には四級にしてあげると 門〇町 町

本品の園民的愛用が増せば増すほど、種々の類似品も出ませらが… 類似品が出れば出るほど…… 他に真似の出來ない本品の特色、優かれた品質効用、廣い用途、低廉なれた品質効用、廣い用途、低廉ないないない。

(日本火)

りました。

入つておべんきやうするやうにな

で、はなすと、

年俱樂部の日繪を見てゐる。総色のの間か、まぶたが驚くなつてく

長

はこといらへんにおほい

した。それから南山ろく

ました。そのうちに大連につきま

百

童

書

方

長春西廣場小學校三年 木暮千枝子

此の間のことでした。私が夕方晶で来る黒や白いねこがゐる。

を 動小學校三年 渡邊ますよ

うちの

つめてゐる。良治には緑の三角形

の扇はせらの繪を不思

松林小學校尋二

だ口で「ウンく」と言つている には三角形もわからないのだった

七二町伊紀市

番〇五〇六話電

紀

Ø

7

せきねせつ子

だけである。

らから、白いねこと、黒いねこと

れました。私はたいへんうれし私の五つのとき、おとうとが生

うございました。それから、

撫服線の列車中のゐねむりをして がぼうとして來た。修學旅行の時

ごろりと襲がへりをうつとあたり

あつた時

ついてます Sといふ字が

でくが木の上に でくが木の上に のぼつて かごにいれ

おりたのかけだ

わからない

どこでおりたか

コエデ

ナ

ナルカラユ

なにはちょうに

イオルリイボレクカト テホシコテウラララナ キキテウヰヤレイレリ ルナトニルハタ テノ

今日はママちやん

彦

おじぎをするのに

先生なんかに ついてゐて

そこもつと

僕のみようじの

運動帽子 的いすずしい

進動帽子 柴田 正一 柴田 正一

日なたであそんで

オネエサンハ フマンゴトアツピラ フマンゴトアツピラ

大廣場小恩校一年大廣場小恩校一年

ママゴト

オモシロカツタデス

さくらんば

さくらんぼ

福田 雄二

能質のさくらんば

和にはひさしが

ひさしも上に くろラシャで

赤い赤い

とつても とつても

お父さんの大概場が事校二年

とりきれない

おいしいな

龍頭のさくらんぼ

ちようどいい まぶしくなくて かげになり 目だげはうまく 郊

大島妙子

した。おかあさんだちはしんばいんざうえんでねたのもそのころで

の、きたない犬とばかりあそん ちの犬は、此の間から、おとな

の年の三月にしつかりなをりまし

しましたが、いいあんばいにつぎ

ましたので。ばいかる丸にのりま

「こら、なにをしてゐる」といふ と、ねこはびつくりしたやらにに

所に家の中のほこり

が目立つて見

こんでゐる。光のたらよつてゐる

える。一つのごみが窓から光の中

した。舟の中からかほを出します

と、海の水はぎんいろに光つてゐ

げていった。

又弟がへんなかほをしながらきた

そして又さつきとおなじやらに「

良治のそばに横になつてゐるとい

と消へてしまつた。

私は来年も星ヶ浦にくるつおつしやつて居ました。

ねえさんどうしたの」といったの

した。ぼくはこくろぼそくなり

たっそして四月には、りつばに一

日

といはれるとなみだが出ました。

りおぼえてるません。

來ではいけませんよ」

これから、犬など、もらつて

さんがなくなりました。その時は

こでかはいい弟がらまれて、をば

月に一年生に入りました。先生は おぼえました。そしてきよ年の四

つきの白いねこだけ内のうらの方

なんだかへんだと思って私もかへ

いでにげていつた。

つた。まどから庭を見ると、又さ

(年六校學小麓山南

ぼくがまだ四つでしたからはつき

べんきやうは二番でした。そのう

ちに一懸きもすぎていよく大連

にくることになりました。ぼくは

をとつてたべた。私はすぐまどを

午後の光が座版にゆるやかに流れ時間の針が一時をまはる。

をながめながら、人がゐるかしら

~やつてきた。内の方

それまでびようきでねてゐました

いよいよ大連に行く二十五日がき

沙州

「おかあさん、闘して、來まし

わからない、犬にいひました

まれましたぼくが三つの時六甲村

あくる年、今一年のいもうとがら

といふところへうつりました。

病药

「犬よ、これで、おわかれっさ

どの木がありました。

いひながら、お菓子を、たくさ

もつて来て、

みんな。やりま

した、ぼくの家はきしや道の近く

いちの大石といふとろでうまれま

ぼくは大正十年の五月九日に、な一年生に入りました。

南山麓小學校尋二

でにはに、つばきやかきやびはな

で兄さんは、だめだだめだと、

ひました。なかなかかけませんの

それからばくは兄さんに字をなら

ってるました。だってぼくは五つ

聞えたのか、遊は私の話をきかなた。その時お母さんのよぶこえが

うなかほをして私の話を聞いてる

つたらいいとおもひまする

鎖前小學校五年 高宮 茂人

五年 高宫族人

く大きくなるにしたがつて字を

「はい、せつかく、もらつてき

そんした、大でも、きつい

新育見の友 木巻へ毎中 野育見の友 木巻へ毎中 東一十億日 リ十個 例 を受ける (本) を 日本 (本

5秋白色

極めて濃厚を乳白液

して、お徳川第一です。 普通の化粧液の働きを

大和 三〇錢。特大 五〇錢

になりませう。

7ごう電車で おみやげいつたい なんだろな

大阪場小學校一年 チカシツニイ ボウヤガシ アンアンナ

7样 洋 酒 洋 角町速浪町勢伊市連大 行 番〇〇〇五話電

構造-計算-鑑定 宗像建築事務所 高北宗像主一建築-設計-監督 宗像建築事務所 高北宗像主一

大連市播響町

池田小兒科門醫院 地田 嘉一郎 惠一郎

品 洋行

平尾赞平商店

馬

竸

3

大連秋

の競馬

たが坂本三港、本二連門田の遊ぶ四球に出で坂田球に出で坂

六

松山高商郵満洲俱樂部第一回野球を能す界酸に六野五にて常勝軍満俱人攻め窓に六野五にて常勝軍満俱人攻め窓に六野五にて常勝軍満俱人攻め窓に六野五にて常勝軍満俱人

常勝軍満俱敗る

都安藤弟松山先攻試合經過次の如

H

三

千

エ伯號搭乘の六氏

洋

の特報

記

日本にも大飛行船が欲し 草鹿少佐威慨深 杯をあげ 元成を祝 足拍子をとつて雕り出しそうにしひの爆酸が入り混つて陽氣至極だ とと 語る

で表示して対称した草鹿少佐は歐徹に堪之的面特で余に語る。 な状き太平洋處女空征服の鵬途成れるを祝しエッケナー博士海は油の如く艇艦に翻の擬型するをみるのみ、われ等はサロンに集つてシャ海は油の如く艇艦に翻の上でをなるのみ、われ等はサロンに集つてシャーの手神派員二十五日登』本船時間午後五時米大陸の奏観駅に入り天氣艦鹏を極め盆は維整の百井神派員二十五日登』本船時間午後五時米大陸の奏観駅に入り天氣艦鹏を極め盆は維整の メリカン兩社各國版欄所有】いて考へて見ても汽船によると必ず持たねばならぬといふと観程を將に終らんとするに る太平洋横斷よりもずつと愉快なものであつた『電道ニュノ』。 なことである、 コん変の航空は速度の際は言はずもが充他のふことである、 コん変の航空は 用本もまたこのツェ伯鸌のやに富り余の深く威ずるところは 日本もまたこのツェ伯鸌のや

ゼンダールと米海軍

米飛行家ロー

カン雨社各國版權所有】

はツエ伯號飛行便用日附

朝の凉

ラヂオを通 次拶や。 ロスアンゼルスに到着直後に 咸相 心談を

- 博士、アメリカ飛行 各國版權所有】

を行はしむること」なったが をで選びて同族中スアンゼルス を選びて同族中スアンゼルス で選びて同族中スアンゼルス

十五度西郷百七十三度十分でアリ 太平洋交通史上

報

ンに集まり大賑ひ

(日曜火)

れ、、、、、のつでは居るが先づ以て平。朝は穏かに目を醒ますことが出 朝は懸かに目を醒ますことが出来ひ大した端天にもならずに済み今 がら十一時過ぎ眠りについたが幸にしな 『2伯號白井特派員二十四日夜 以荒棹様を気にしな 本り今朝の関信はアラスカのコル なり今朝の関信はアラスカのコル なり今朝の関信はアラスカのコル なり今朝の関信はアラスカのコル

入內

理事長から釋明

一日の第十一競馬

髪を起す

劃時代的な記錄 の競争とされ四時半十頭の馬及びでその他は物の敷に入らず、大れ千早(騎士艦村)が四百九次(五間祭換算

を切つたが

素晴しいて、伯號の快速

最後の攻撃に

けふ午後四時實業球場 質業戦

貴時

金

島直輸

ての指輪

3

30 4 0 3 1 3 3 2 4 3 -5 0 0 0 0 0 0 2 2 0 8 0 0 0 0 0 1 1 1 1 0 2 0 0 0 0 0 2 0 0 0 -7 0 0 2 0 0 1 1 0 1 4 0 0 0 0 0 1 0 1 0 1 2 0 0 0 1 0 0 0 0 0

> 旹 様の一優物で 雨傘日 山

大連商品館(右入口)

れた日午前十時半

リ大特價以下の品は全部・ します

部止用白サンゴ及ヒタイは在

主義者檢學 傾 團組織 執行委員會に落合ふ所を 鎌倉驛を包圍して

者は大體左の十氏で

関となり六名を検束したが、事働者風の男を検束せんと事から下車した八九名の概定せんと 郷文等多數を押収した では從來開かれた委員會を職の では從來開かれた委員會を職の

出し銀行紙幣に押して悦に入つて ソは地圖と首引で熟心に何か 附印を持ち 完全に作られた。 壓馬術大會

術の名人を網羅して花々しく擧行 対會は十一月三日全國における馬 大會は十一月三日全國における馬 で開始が第五回馬術

に決定した

されること、なつてゐるが、選 されること、なつてゐるが、選 からの参加人員は三名でこの選 からの参加人員は三名でこの選

日本の十月頃

日付變更線を越に

時差のため廿四日が續く

球戦

全滿野 撫順で擧行する

九月六日から三日間

ムなった

マクドナルド(母 水井氏が英原大窓根の低監目を 水井柳太郎氏執筆

無旨 * 浪華洋行

1

電話

13

上
つ

太和

四、俗謠(米山基句、元祿節)明梅の家千爾、三味線上田ベル子五、等曲(新生唐衣の曲)華富森檢校、同上田猛大、安那劇(走雪山)連東俱樂部々大、安那劇(走雪山)連東俱樂部々大、天氣豫報

祖元蜂種

屋問蜜蜂

岐阜縣本

特別

即夢

昭和四年八月廿七日(火曜日) ラデュ

H

自動車が鉢合せ 圓タクは自轉車と衝突 一、ニュース 一、ニュース 一、カリス 一、ニュース 一、支那語講座(實用支那語會話) 一、支那語講座(實用支那語會話) 一、支那語講座(實用支那語會話) 一、支那語講座(實用支那語會話) 一、支那語講座(實用支那語會話) 一、支那語講座(實用支那語會話) 相場(特產、錢鈔、株式、各地相自午前十一時

銀製盃は豐富に取揃へ文字彫刻は如何標 の御注文をも承つて居ります

8 子菓。夏 界各 上汐水平 子狩羹玉 8 酒 さび 関頭 産 類

食

00

大いで馬労金搬戻しを要望したがとするも容易に購入れず

栗 きみ 牡 勇 布 通 茶傷

一十七日、二十八日、兩日間 現金廉賣デー記念の爲

会会会会